



取扱説明書

5241(PT)P\*JA

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

**◆十分に充電してお使いください**

ご使用いただく前に、まずは時計の充電量をご確認ください。

 参照 充電量の確認…P.30

## ◆計測機能について

- 専門的な計測器ではありません。

計測機能は、目安としてお使いください。

 参照 方位計測…P.74 高度計測…P.90  
気圧計測…P.100 温度計測…P.110

- 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス（方位磁針）を携帯してください。



# この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

## ◆光で発電して動きます

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら、時計は動作します。

→ P.34

## ◆正確な時刻がわかります

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

→ P.40

## ◆北方位がわかります

針が示す北方位から、目標物の方位を調べることができます。

→ P.74

## ◆高度を計測できます

現在地の高度を計測できます。

→ P.90

## ◆気圧を計測できます

気圧を計測できます。気圧傾向を表示して、天候の変化を予測することができます。

→ P.100

## ◆ 温度を計測できます

周囲の温度を計測できます。

→ P.110

## ◆ アラームを設定できます

設定した時刻になると、アラーム音でお知らせします。

→ P.116

## ◆ ストップウォッチとして使えます

経過時間を計測できます。

→ P.120

## ◆ ワールドタイムがわかります

世界 29 都市の時刻を表示できます。

→ P.58

# 安全上のご注意

## 絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

## 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています  
(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています  
(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています (左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

## **危険**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

## **警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

## **注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 警告

本機をスキューバダイビング（アクアリング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



## 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手が届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

 **注意****お手入れについて**

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

## 注意

### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
  - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
  - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
  - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
  - 万一、異常が生じた場合は、ご使用中を中止し、医師にご相談ください。

## 注意

### 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



### ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

## 注意

### ご使用にあたって

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

 **注意****オートライト作動時の  
ご使用について**

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険です。交通事故の原因となることがあります。

# 目次

この時計の特長 .....	4
---------------	---

安全上のご注意 .....	6
---------------	---

本書について .....	20
--------------	----

本文中の記号について .....	20
------------------	----

各部の名称 .....	21
-------------	----

文字板の表示について .....	22
------------------	----

ご使用になる前に .....	26
----------------	----

りゅうずの操作 .....	26
---------------	----

充電量の確認 .....	30
--------------	----

時刻と日付の確認 .....	32
----------------	----

光で充電（ソーラー充電） .....	34
--------------------	----

充電するには .....	34
--------------	----

充電不足や充電切れ .....	36
-----------------	----

充電にかかる時間 .....	37
----------------	----

節電（パワーセービング機能） .....	38
----------------------	----

自動的に時計を合わせる（電波時計） ..	40
----------------------	----

電波の受信範囲と条件.....	42
受信場所.....	45
電波を受信するには.....	46
受信のご注意.....	51
<b>モードの種類と切り替え.....</b>	<b>52</b>
各モードでできること.....	52
モードの切り替え.....	54
時刻モードへの自動切り替え.....	57
<b>都市の設定と時計の合わせ方.....</b>	<b>58</b>
都市の設定.....	58
スタンダードタイムとサマータイムの設定.....	61
時刻と日付の調整.....	65
<b>方位計測.....</b>	<b>74</b>
針の見方.....	74
方位を計測する.....	75
方位の補正.....	76
2点補正.....	77
北方位補正.....	81

使用例.....	84
方位計測のご注意.....	87
<b>高度計測.....</b>	<b>90</b>
針の見方.....	90
高度を計測する.....	92
高度の補正.....	94
高度計について.....	96
高度計測のご注意.....	98
<b>気圧計測.....</b>	<b>100</b>
針の見方.....	100
気圧を計測する.....	101
気圧差を調べる（気圧差インジケータ）.....	103
気圧差を表示する.....	104
気圧の補正.....	106
気圧計測のご注意.....	108
<b>温度計測.....</b>	<b>110</b>
針の見方.....	110
温度を計測する.....	111
温度の補正.....	113
温度計測のご注意.....	115

<b>アラーム</b> .....	<b>116</b>
針の見方.....	116
アラーム時刻を設定する.....	117
アラームの ON/OFF を切り替える .....	119
アラーム音を止める .....	119
<b>ストップウォッチ</b> .....	<b>120</b>
針の見方.....	120
計測する.....	121
<b>針や日付のずれ補正</b> .....	<b>122</b>
針や日付のずれを補正する .....	123
<b>ライト</b> .....	<b>126</b>
ボタンを押して点灯させる.....	126
自動的に点灯させる（オートライト）.....	127
点灯時間を切り替える.....	129
<b>お困りのときは</b> .....	<b>130</b>
針の動きと表示 .....	130
りゅうずの操作.....	134
操作音.....	134

センサー .....	135
充電 .....	137
電波受信.....	138
アラーム.....	140
<b>製品仕様.....</b>	<b>142</b>
<b>ご使用上の注意.....</b>	<b>146</b>
<b>お手入れについて.....</b>	<b>152</b>
<b>本製品で使用している電池について ..</b>	<b>154</b>
<b>金属バンドの駒詰めについて .....</b>	<b>155</b>
<b>UTC（協定世界時）とタイムゾーン..</b>	<b>156</b>
<b>都市コード一覧表.....</b>	<b>158</b>



# 本書について

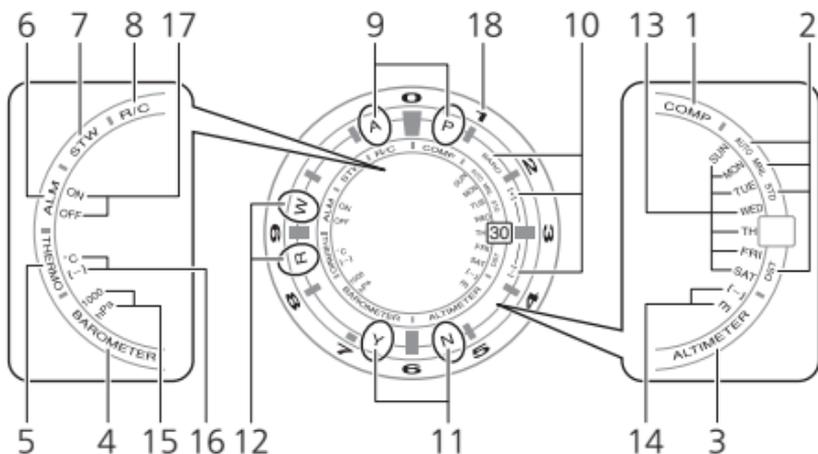
## 本文中の記号について

-  **注意**：誤った使用方法によるケガや故障を防ぐための情報を記載しています。
-  **重要**：正しく使用するために必要な情報を記載しています。
-  **参考**：各機能や操作の説明に関する補足情報を記載しています。
-  **：**詳細の説明や関連する項目などの参照ページを案内しています。



## 文字板の表示について

文字板の略語や文字は、以下を表します。



### 1. COMP: 方位計測モード

 方位を計測する ...P.75

### 2. AUTO、MNL、STD、DST: サマータイムの設定

 スタンダードタイムとサマータイムの設定 ...P.61

### 3. ALTIMETER: 高度計測モード

 高度を計測する ...P.92

4. BAROMETER: 気圧計測モード  
 気圧を計測する ...P.101
5. THERMO: 温度計測モード  
 温度を計測する ...P.111
6. ALM: アラームモード  
 アラーム時刻を設定する ...P.117
7. STW: ストップウォッチモード  
 計測する ...P.121
8. R/C: 受信モード  
 電波を受信するには ...P.46
9. A、P : 午前／午後の表示  
 時刻と日付の調整 ...P.65
10. BARO [ + ] - [ - ] : 気圧差インジケータ  
 気圧差を調べる(気圧差インジケータ)...P.103
11. Y、N : 受信結果  
 電波を受信するには...P.46

12. R、W：電波の受信状態

 電波を受信するには…P.46

13. SUN、MON、TUE、WED、TH、FRI、SAT：曜日

 各部の名称…P.21

14. [－]、m：高度の表示で使用

 針の見方…P.90

15. hPa、1000：気圧の表示で使用

 針の見方…P.100

16. [－]、℃：温度の表示で使用

 針の見方…P.110

17. ON、OFF：アラームの ON、OFF

 アラームの ON/OFF を切り替える…P.119

18. 0123456789：高度、気圧、温度の表示で使用

 針の見方…P.90、P.100、P.110



# ご使用になる前に

## りゅうずの操作

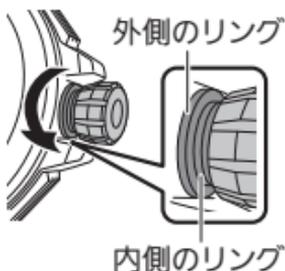
りゅうずはロック構造となっており、「引く・回す・戻す」の操作ができます。

- 「引く・回す・戻す」は、ロックを解除すると操作できます。

### ✔重要

日常のご使用では、りゅうずを必ずロックしておいてください。誤操作および衝撃による損傷を予防できます。

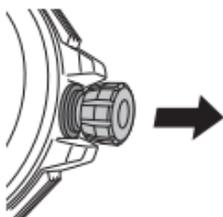
### ロックの解除



りゅうずを左に回してください。ねじがゆるんでロックが解除されます。

- ロックが解除されると、図のように、内側のリングが見えるようになります。

引く



りゅうずを引いてください。

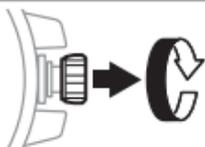
- りゅうずを引くとピッと音が鳴ります。

回す



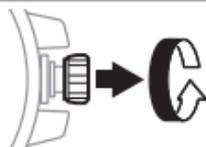
りゅうずを回してください。りゅうずを回して針を動かすとき、以下の操作で針の動きを早送りすることができます。

早送り



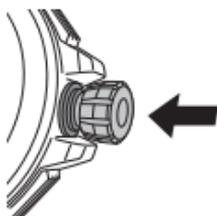
りゅうずを引いた状態でくるくると1回転以上回すと、りゅうずを離しても自動的に早送りされます

早送り解除



りゅうずを逆方向(矢印の方向)に回す、またはいずれかのボタンを押す

戻す



- りゅうずを押し戻してください。
- りゅうずを戻すとピッと音が鳴ります。

ロックする



- りゅうずを押し込みながら右に回してしっかりと締めてください。
- 図のように、内側のリングが見えなくなるまでりゅうずを回してください。

### ✔ 重要

ロックするときは、ねじのかみ合わせに注意して押し込みながらゆっくりと回してください。

### 💬 参考

- りゅうずを引いた状態で2～3分何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

- 早送りは、時刻モードおよびアラームモードの時刻修正、日付のずれ補正で使うことができます。

## 充電量の確認

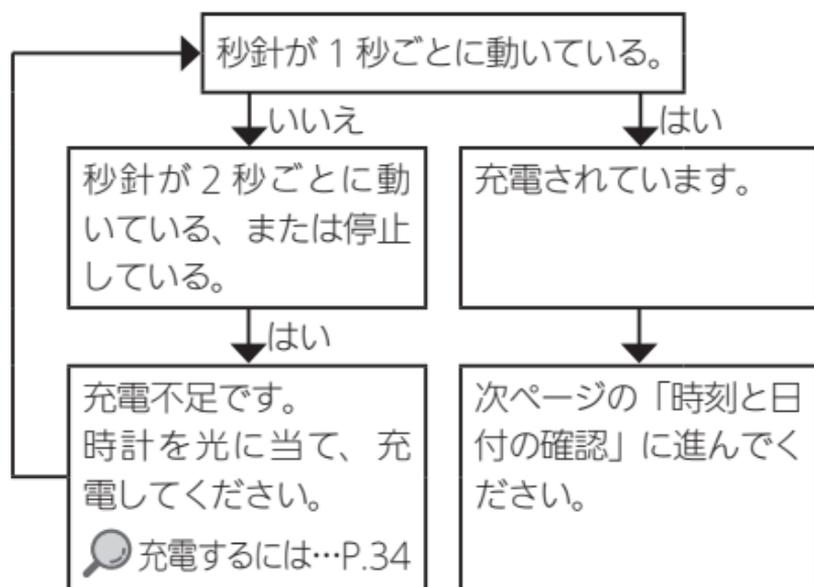
- ① りゅうずをロックした後、ピッピッと音が鳴るまで、**Ⓑ** ボタンを2秒以上押し続けて、時刻モードに切り替えます。

充電量が不足しているときは、ピッピッという音は鳴りません。

 モードの切り替え…P.54



- ② チャートに従って、充電量を確認してください。



## 時刻と日付の確認

- ① りゅうずをロックした後、ピッピッと音が鳴るまで、**Ⓑ** ボタンを2秒以上押し続けて、時刻モードに切り替えます。

充電量が不足しているときは、ピッピッという音は鳴りません。

 モードの切り替え…P.54



- ② チャートに従って、時刻と日付の表示を確認してください。

### ✓重要

- この時計を日本以外の国で使用する場合は、使用するタイムゾーンを確認して都市およびサマータイムを設定してください。

 UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.156

- 都市とサマータイムを正しく設定しないと、以下の原因となります。
  - 電波を受信しない
  - 電波を受信しても、正しい時刻を表示しない

時刻と日付が合っている。

はい

そのままお使いいただけます。

いいえ

使用する地域（タイムゾーン）の代表都市およびサマータイムを設定してください。

 都市の設定…P.58

 **参考**

工場出荷時の初期設定は、以下の通りです。

- 都市：東京（TYO/TOKYO）
- サマータイム設定：AUTO・STD

時刻と日付を合わせてください。

- 電波を受信できる場所でご使用の場合

 電波を受信するには…P.46

- 電波を受信できない場所でご使用の場合

 時刻と日付の調整…P.65

# 光で充電（ソーラー充電）

この時計は、ソーラーパネルで発電した電気を充電したバッテリー（二次電池）で動作します。

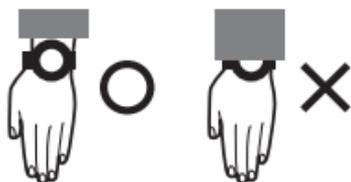
- ソーラーパネルは文字板と一体になっています。
- 文字板に十分な光が当たっているときに、発電と充電をします。

ご使用の際は、文字板（ソーラーパネル）に光を当てるように心がけてください。

## 充電するには



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。1ヵ月に1回、半日ほど日光に当てて充電すると、より安定した状態で使用できます。



腕につけているときは、文字板（ソーラーパネル）に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板（ソーラーパネル）が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

### 注意

充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。

- 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
- 白熱灯などの発熱体に近い所
- 直射日光が長時間当たり、高温になる所

## 充電不足や充電切れ

バッテリー（二次電池）の充電量は時刻モードの針の動きで確認します。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。充電不足になったときは、文字板（ソーラーパネル）に光を当てて充電してください。

充電不足	充電切れ
	
<p><b>1</b>秒針が2秒ごとに動きま す（バッテリー充電警告機 能）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>• すべての針が 12 時位置 で停止します</li><li>• どのボタンを押しても針 は動きません</li></ul>

## 充電にかかる時間

充電の目安として、下表をご活用ください。

### ◆1日、使用するために必要な充電時間

環境 (照度)	充電時間
晴れた日の屋外など (50,000 lx)	8分
晴れた日の窓際など (10,000 lx)	30分
曇りの日の窓際など (5,000 lx)	48分
蛍光灯下の室内など (500 lx)	8時間

### ◆充電量の回復に必要な時間

環境 (照度)	充電切れから 時計が動き出 すまで	時計が動き出 してから満充 電まで
晴れた日の屋外など (50,000 lx)	3時間	31時間
晴れた日の窓際など (10,000 lx)	7時間	113時間
曇りの日の窓際など (5,000 lx)	11時間	184時間
蛍光灯下の室内など (500 lx)	115時間	—

## 節電（パワーセービング機能）

パワーセービング機能とは、時計を暗い場所に置いておくと自動的に節電状態になる仕組みです。

節電状態には、秒針スリープと機能スリープの2段階があります。以下の条件によって切り替わります。

節電状態	スリープまでの 所要時間	針の機能の状態
秒針スリープ	暗い場所に置いてから約1時間	① 秒針が12時位置（0秒位置）で停止します。
機能スリープ	秒針スリープのまま約1週間	<ul style="list-style-type: none"><li>すべての針が12時位置で停止します。</li><li>日付表示のみ通常通り作動します。</li></ul>

### ☰ 参考

- 節電状態は、以下の方法で解除します。
    - ボタンまたはりゅうずを操作する
    - 時計を明るい場所に置く
    - オートライトが動作する角度まで傾ける
-  自動的に点灯させる（オートライト）…P.127

- 午前6時から午後9時59分の間は節電状態になりません。午前6時の時点で、すでに節電状態の場合は節電状態を維持します。
- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- ストップウォッチモードのときは節電状態になりません。

# 自動的に時計を合わせる（電波時計）

この時計は、時刻情報を乗せた標準電波（以降、電波）を受信することで、正確な時刻と日付を表示します。

## ✔ 重要

電波を受信するためには、受信機能に対応している都市を設定しておく必要があります。

 都市の設定…P.58

## 🗨️ 参考

日本で使用する場合は、購入時の初期設定から変更する必要はありません。購入時の初期設定は以下の通りです。

- 都市：東京（TYO/TOKYO）
- サマータイム設定：AUTO・STD

## 受信機能に対応している都市

都市	受信する電波
TYO(TOKYO)	日本の標準電波(JJY)
HKG(HONG KONG)	中国の標準電波(BPC)
NYC(NEW YORK)/ CHI(CHICAGO)/ DEN(DENVER)/ LAX(LOS ANGELES)/ ANC(ANCHORAGE)/ HNL(HONOLULU)	アメリカの標準電波 (WWVB)
LON(LONDON)/ PAR(PARIS)/ATH(ATHENS)	イギリスの標準電波(MSF) ドイツの標準電波(DCF77)

### ✓重要

電波を受信できない地域や都市で使用するときは、手動で時刻を設定してください。

🔍 都市の設定…P.58

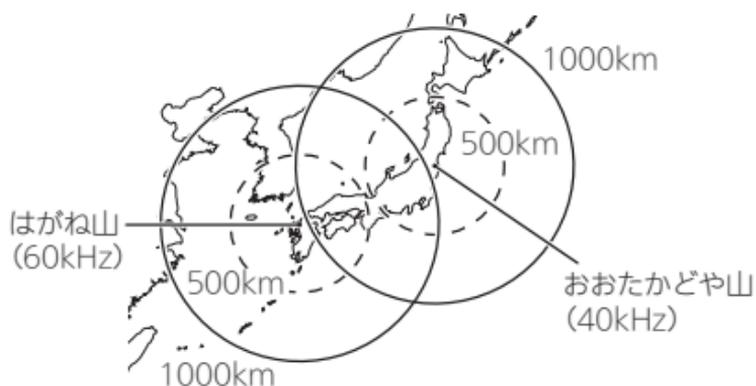
🔍 時刻と日付の調整…P.65

🔍 UTC(協定世界時)とタイムゾーン…P.156

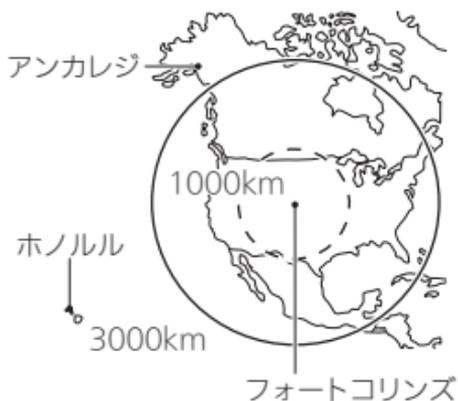
🔍 都市コード一覧表…P.158

## 電波の受信範囲と条件

<日本(JJY)>

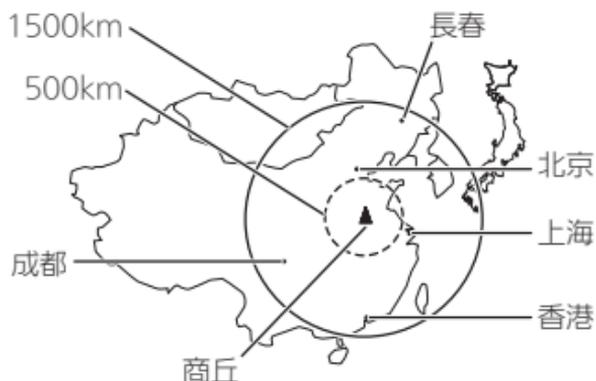


<アメリカ(WWVB)>



## 自動的に時計を合わせる(電波時計)

### <中国(BPC)>



### <イギリス(MSF)/ドイツ(DCF77)>



アンソーンから送信されている電波は、  
この範囲でも受信できます。

## 参考

- 電波の受信範囲内でも地形、天候、時期（季節）、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。内側の円の範囲を越えると電波が弱くなりますので、それらの影響はより大きくなります。  
ホノルルおよびアンカレジの地域（タイムゾーン）は電波の受信範囲外ですが、条件が良いときは受信できます。
- この時計を使用する国と、電波を送信している国で、サマータイム制度の有無や実施期間などが異なる場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。
- 中国は2010年12月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後、この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

## 受信場所

- 金属を避けて、時計の 12 時位置を窓に向けて置いてください。電波を受信させている間は、なるべく時計を動かしたり、操作をしたりしないでください。通常、夜間の方が電波を受信しやすくなります。
- 以下の場所では、電波を受信しにくくなります。
  - ビルの中およびその周辺
  - 乗り物の中
  - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
  - 工事現場、飛行場など
  - 高圧線の近く
  - 山間部、山の裏側



## 電波を受信するには

受信方法には、決まった時刻に時計が自動的に受信する自動受信と、ボタン操作で受信する手動受信があります。受信には通常3～8分、状況によっては最大で16分かかります。

### ◆自動的に電波を受信する

#### ① 時計を受信しやすい場所に置いてください。

午前12時から午前5時の間に、1日最大6回（中国は1日最大5回）自動で受信します。ただし1日1回受信に成功すれば、その日のそれ以後は自動受信をしません。

#### ② 受信が成功すると自動的に時刻を修正し、正確な時刻を表示します。

受信に失敗した場合は、時刻を修正しません。

#### 参考

自動受信を無効にすることもできます。

 自動受信の設定…P.49

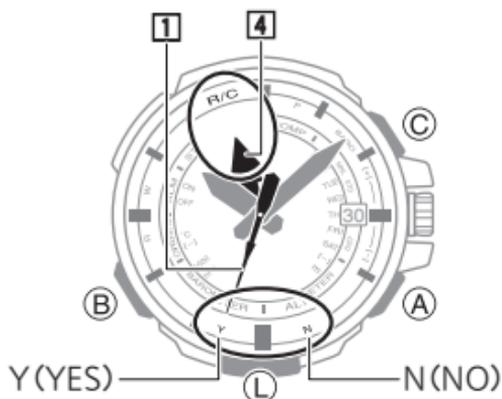
## ◆ 前回の受信結果を確認する

## ① 時刻モードにします。

🔍 モードの切り替え…P.54

## ② (B) ボタンを 5 回押します。

④ モード針が「R/C」の位置を示すと受信モードです。



## ① 秒針の表示と受信結果

Y (YES)	受信成功
N (NO)	受信失敗

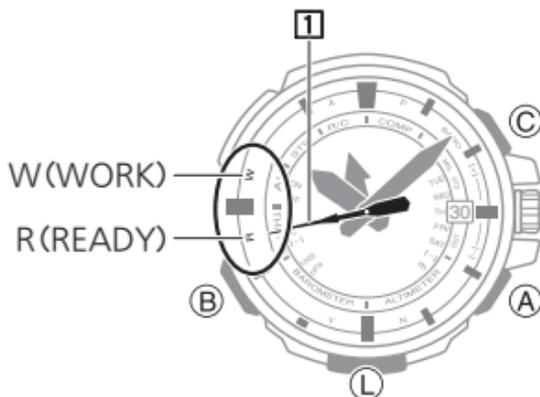
何も操作をしないまま 2 ~ 3 分経過すると時刻モードに戻ります。

## 参考

受信が成功していても、その後に手動で時刻や日付を変更した場合は、**1** 秒針が「N」（NO）を示します。

## ◆手動で電波を受信する

- 1** 受信モードで、**A** ボタンをピッと音が鳴るまで2秒以上押し続けると受信を開始します。



**1** 秒針が現在の受信状況を表示します。

- 「R」（READY）または「W」（WORK）を示します。

### **1** 秒針の表示と受信状況

R (READY)	受信が不安定です
W (WORK)	受信が安定しています

### 参考

- 受信しやすい場所でも、安定するまで約 30 秒かかります。
- 受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

**② 受信に成功すると自動的に時刻を修正します。**  
また、**① 秒針が Y(YES) を表示します。**

### 参考

受信に失敗した場合は、周辺の受信環境を確認の上、再度受信操作をしてください。

 受信場所…P.45

## ◆自動受信の設定

自動受信を無効にして自動受信機能を停止させることができます。

### 参考

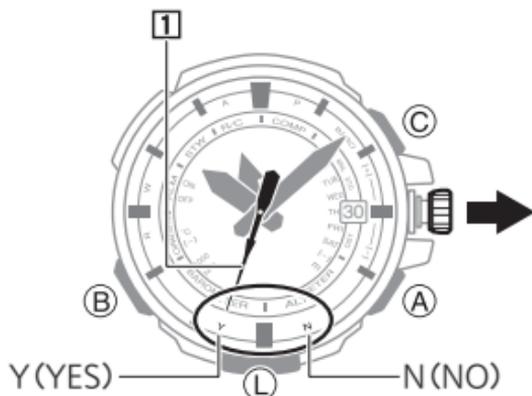
電波の受信に対応している都市を設定している場合は、自動受信の有効 / 無効を選べます。

 受信機能に対応している都市…P.41

 都市コード一覧表…P.158

**① 受信モードで、ロックを解除してから、りゅうずを引きます。**

**①** 秒針が現在の設定を示します。



**② ③ ボタンを押して、設定したい位置に ① 秒針を合わせます。**

- 自動受信「有効」なら「Y」(YES)
- 自動受信「無効」なら「N」(NO)

**③ りゅうずを戻し、ロックします。**

前回の受信結果の表示に戻ります。

**✓ 重要**

りゅうずを引いた状態で2～3分何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

### 受信のご注意

- 時刻モードで電波を自動受信します。
- 電波を受信して自動的に時刻を修正する際に、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
  - 充電不足のとき
  - 節電状態(機能スリープ)のとき
- 受信中にアラーム音が鳴ったときは、受信を中止します。
- 電波障害により誤った信号を受信したときは、再度電波を受信してください。
- 電波の受信による時刻の修正ができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。

# モードの種類と切り替え

この時計には、機能に応じたモードが8つあります。各モードでできることとモード切り替え操作は以下の通りです。また、各モードに共通している機能や操作は、57ページを参照してください。

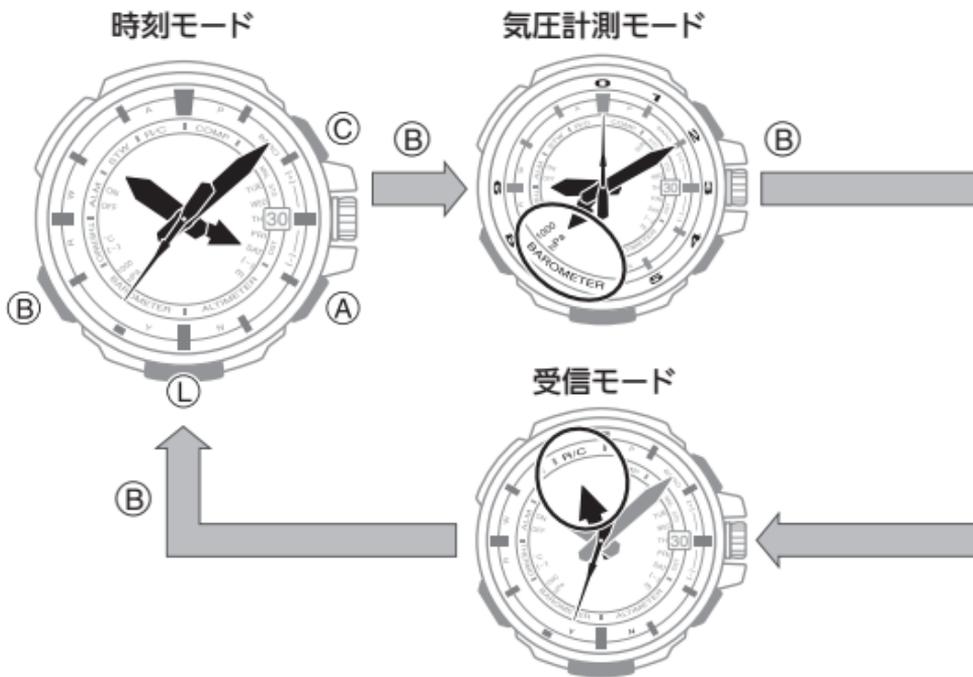
## 各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻	<ul style="list-style-type: none"><li>時刻、日付、曜日の表示</li><li>都市、時刻、サマータイムの設定</li></ul>	P.58
方位計測	北方位の計測	P.74
高度計測	現在地の高度を表示	P.90
気圧計測	<ul style="list-style-type: none"><li>現在地の気圧の表示</li><li>気圧差の表示</li></ul>	P.100
温度計測	現在地の温度の表示	P.110

モード	機能	参照 ページ
アラーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>アラーム時刻の設定</li> <li>アラームの ON/OFF</li> </ul>	P.116
ストップ ウォッチ	経過時間の計測	P.120
受信	<ul style="list-style-type: none"> <li>電波の手動受信</li> <li>受信結果の確認</li> <li>自動受信の設定</li> </ul>	P.40

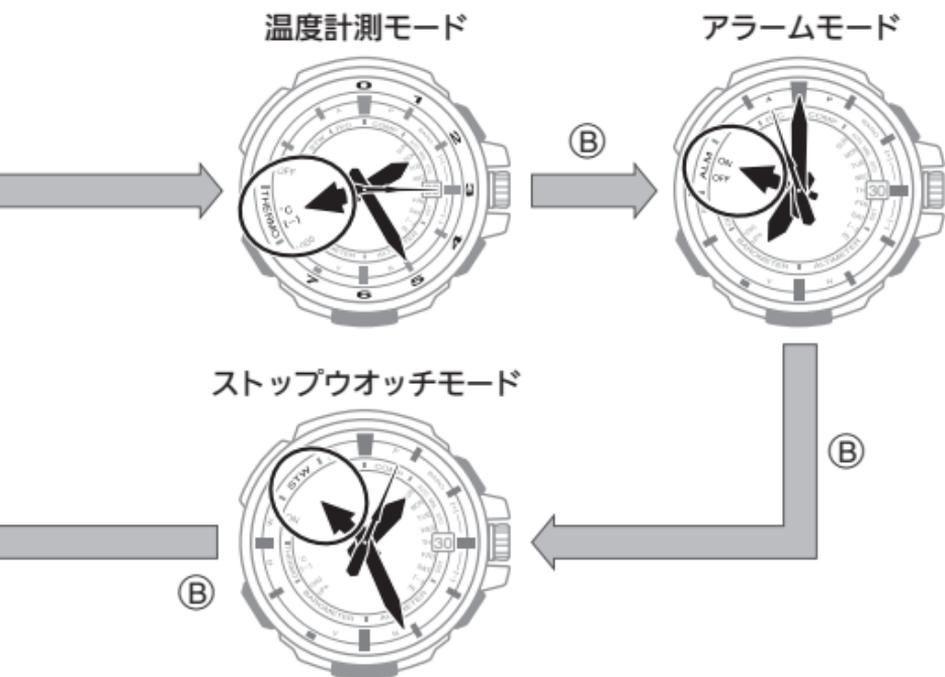
## モードの切り替え

② ボタンを押すごとに、以下のモードに切り替わります。



### 参考

- どのモードで操作していても、りゅうずをロックした後、② ボタンを約 2 秒間押し続けると時刻モードに戻ります。このときピピッと 2 回高い音が鳴ります。



- ③ ボタンを押すごとに音が鳴ります。時刻モードに戻るときは、高い音が鳴ります。
- 充電量が不足しているときは音が鳴りません。この場合は、充電してください。

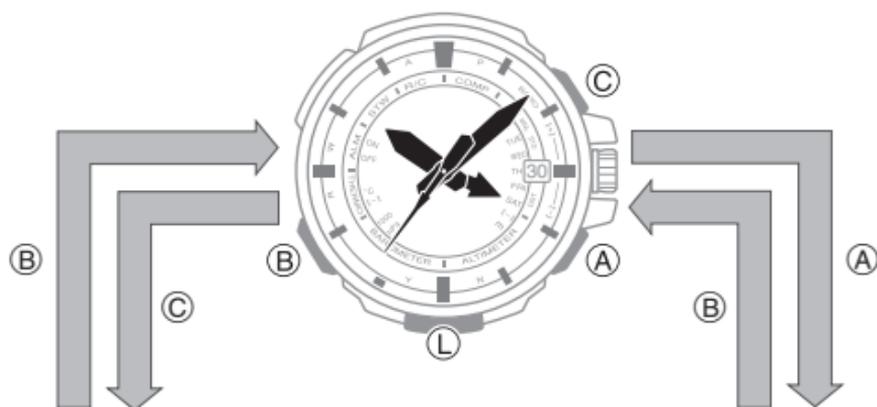
🔍 充電するには…P.34

下記のボタン操作で、時刻モード、方位計測モード、高度計測モードを切り替えることができます。

## ✓重要

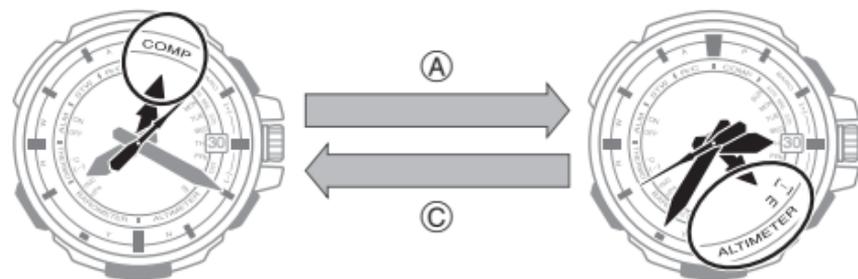
方位計測モード、高度計測モード以外のモードから方位計測モード、高度計測モードに切り替えるときは、まず時刻モードに切り替える必要があります。

時刻モード



方位計測モード

高度計測モード



## 時刻モードへの自動切り替え

各モードで何も操作せず時間が経過すると、時刻モードに自動的に戻ります。

モード	経過時間
アラーム、受信	2～3分
方位計測、高度計測、気圧計測、温度計測	1～2分

# 都市の設定と時計の合わせ方

世界 29 都市と UTC（協定世界時）の中から、使用する都市を設定すれば、自動的に都市の現在時刻を表示します。また、他の都市を設定することで、各都市の時刻（ワールドタイム）も表示できます。

## 都市の設定

設定できる都市は、都市コード一覧表にある都市です。

都市コード一覧表にない都市でこの時計を使用するときは、同じタイムゾーンの都市を設定します。タイムゾーンは巻末の「UTC（協定世界時）とタイムゾーン」で確認できます。

 UTC（協定世界時）とタイムゾーン…P.156

 都市コード一覧表…P.158

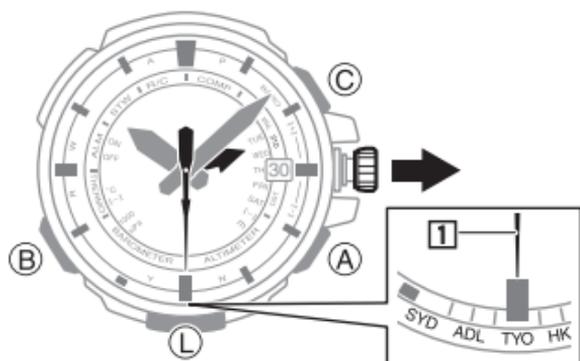
### 重要

この時計を日本で使用する場合は、都市を東京（TYO/TOKYO）に設定します。



**① 時刻モードで、ロックを解除してから、りゅうずを引きます。**

- 都市を変更できる状態になります。
- **①** 秒針が現在選択している都市コードを示します。



**② りゅうずを回し、**①** 秒針を設定したい都市コードの位置に合わせます。**

都市を変更すると、**②** 分針、**③** 時針、**④** モード針および**⑤** 日付が動き、選択した都市の時刻、サマータイム設定、日付を表示します。

**③ りゅうずを戻し、ロックします。**

時刻の表示に戻ります。

**✔重要**

りゅうずを引いた状態で2～3分何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

**スタンダードタイムとサマータイムの設定**

電波の受信に対応した地域（中国を除く）では、「AUTO」にしておけば、電波の受信時に通常の時刻（スタンダードタイム）とサマータイムが自動で切り替わります。電波の受信に対応していない地域は手動で設定してください。

**🗨参考**

サマータイムとは、DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻（STD：スタンダードタイム）から1時間進める夏時間制度のことです。

サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

🔍 都市コード一覧表…P.158

## スタンダードタイムとサマータイム

STD	現在時刻がスタンダードタイムになっていることを示します。
DST	現在時刻がサマータイムになっていることを示します。

## サマータイムの切り替えについて

AUTO (STD/DST 自動切り替え)	スタンダードタイムとサマータイムが電波受信によって自動で切り替わります。
MNL (STD/DST 手動切り替え)	スタンダードタイムとサマータイムを手動で選択します。

## ◆サマータイムの自動切り替えと手動切り替えを設定する

① 時刻モードで、ロックを解除してから、りゅうずを引きます。

① 秒針が現在選択している都市コードを示します。

④ モード針が、現在時刻がサマータイムかスタンダードタイムかを示します。

② © ボタンをピッと音が鳴るまで5秒以上押し続けます。

④ モード針が「MNL」または「AUTO」に切り替わります。

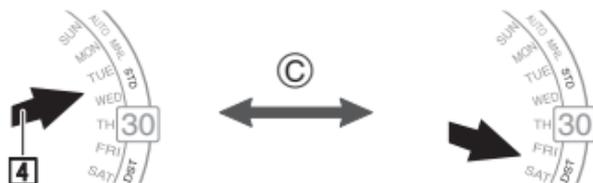
2秒後に「STD」または「DST」を示します。



- 「AUTO」を示した場合は自動切り替えに設定されています。
- 「MNL」を示した場合は手動切り替えに設定されています。
- 再度「MNL」と「AUTO」の設定を入れ替えるときは、© ボタンをピッと音が鳴るまで5秒以上押し続けてください。

**③** **Ⓒ** ボタンを押し、**④** モード針を「STD」または「DST」に合わせます。

Ⓒ ボタンを押すごとに、**④** モード針が「STD」または「DST」に切り替わります。



- サマータイム設定が「AUTO」の場合は、電波を受信すると設定が自動的に変更されます。

**④** りゅうずを戻し、ロックします。

時刻の表示に戻ります。

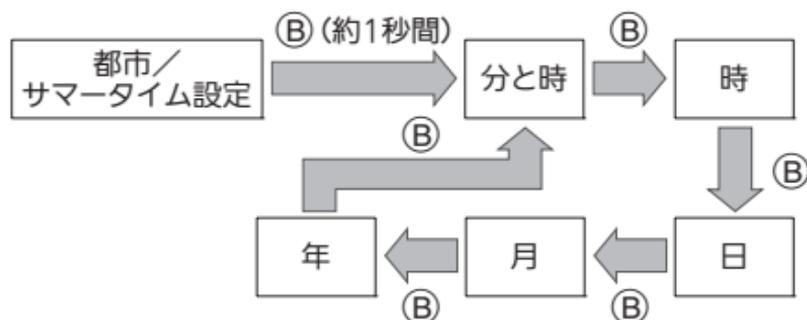
## 時刻と日付の調整

電波を受信できない地域で使用するとき、時刻と日付を手動で合わせます。

### ✓重要

電波を受信できる地域で使用しているときは、電波の受信による時刻と日付の修正をおすすめします。

時刻と日付の手動合わせ中は、**ⓑ** ボタンを押すごとに、設定できる箇所が以下の順に移動します。



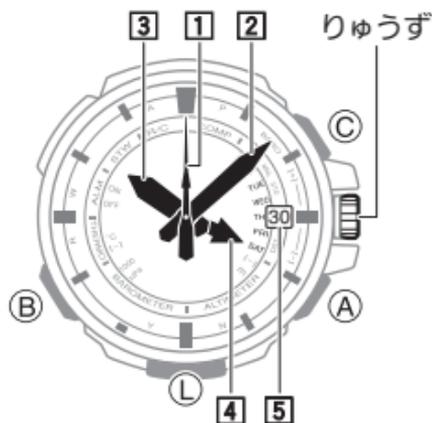
- 該当箇所の針が動きます。  
 「時」：③ 時計針が小さく動きます。  
 「日」：⑤ 日付がわずかに動きます。  
 「月」：① 秒針が動きます。  
 「年」：① 秒針が 12 時位置に移動し、③ 時計針、② 分針が動きます。

🔍 時刻の合わせ方…P.66

🔍 日付の合わせ方…P.69

設定した後、りゅうずを戻してください。時刻の表示に戻ります。

## ◆時刻の合わせ方



- 1 秒針
- 2 分針
- 3 時針
- 4 モード針
- 5 日付

## ① 時刻モードで、ロックを解除してから、りゅうずを引きます。

① 秒針が現在選択している都市コードを示します。

## ② 都市とサマータイムを設定します。

 都市の設定…P.58

 スタANDARDタイムとサマータイムの設定…P.61

## ③ ② ボタンをピッと音が鳴るまで約 1 秒間押し続け、時刻の手動合わせ状態にします。

現在時刻の午前、午後を、① 秒針の位置で示します。「A」は午前、「P」は午後を表します。

## ④ りゅうずを回し、「分」を合わせます。

- 針は早送りで合わせることができます。

早戻しは操作できません。

- りゅうずを回し続けると「時」も合わせることができます。

 りゅうずの操作…P.26

## ⑤ ② ボタンを押します。

③ 時針が小さく動いて、「時」を設定できる状態になったことのお知らせします。

## ⑥ りゅうずを回し、「時」を合わせます。

- 針は早送りで合わせることができます。  
早戻しは操作できません。
- 引き続き日付を調整するときは、**ⓑ** ボタンを押して「日付の合わせ方」手順 4 から操作します。

 日付の合わせ方…P.69

## ⑦ 時報に合わせて、りゅうずを戻し、ロックします。

- 時刻の表示に戻ります。
- **①** 秒針が 0 秒から動き始めます。



**①** 時刻モードで、ロックを解除してから、りゅうずを引きます。

① 秒針が現在選択している都市コードを示します。

**②** ⑧ ボタンをピッと音が鳴るまで約 1 秒間押し続けます。

現在時刻の午前、午後を、① 秒針の位置で示します。「A」は午前、「P」は午後を表します。

**③** ⑧ ボタンを 2 回押して、「日」を設定できる状態にします。

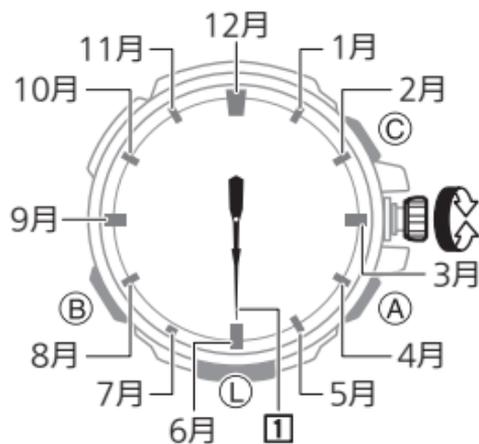
⑤ 日付がわずかに回転して、「日」を設定できる状態になったことのお知らせします。

**④** りゅうずを回し、「日」を設定します。

**⑤** ⑧ ボタンを押して、「月」を設定できる状態にします。

① 秒針が現在の月まで移動します。

## ⑥ りゅうずを回し、「月」を設定します。



## ⑦ ② ボタンを押して、「年」を設定できる状態にします。

- ② 分針：西暦の 1 の位を表示します。
- ③ 時針：西暦の 10 の位を表示します。
- ① 秒針：12 時位置に移動します。



- ⑨ ⑧ ボタンを押して「時刻の合わせ方」手順4から操作します。

 時刻の合わせ方…P.66

- ⑩ りゅうずを戻し、ロックします。

時刻の表示に戻ります。

 **参考**

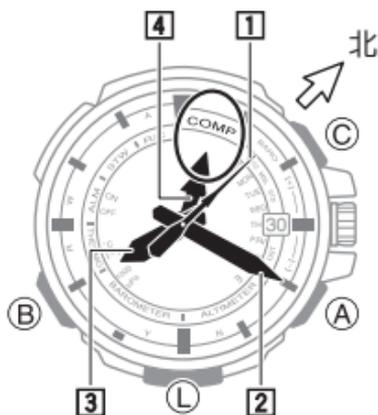
日付の設定は、月ごとの日数の違いや、うるう年にも対応しています（フルオートカレンダー）。

# 方位計測

北方位を示します。

- 北方位は、時計に内蔵している方位センサーで計測します。

## 針の見方



**4** モード針:「COMP」を示します。

**3** 時針

**2** 分針

**1** 秒針:北方位を示します。

### 参考

方位計測時は、**3**時針、**2**分針は停止しています。

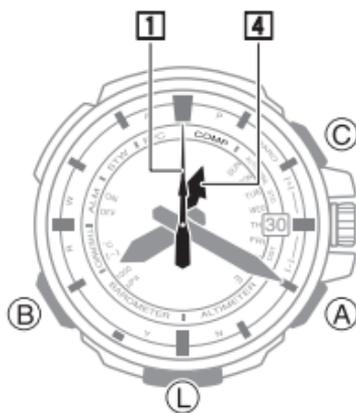
## 方位を計測する

### ① 時刻モードにします。

 モードの切り替え…P.54

### ② 時計を水平に保ちながら **Ⓒ** ボタンを押します。

**④** モード針が「COMP」を示すと、方位計測モードです。



**①** 秒針が「0」を示すと、計測開始です。

計測開始から3秒以内に、**①** 秒針が北方位を示します。

- **①** 秒針が示すのは磁北です。

 磁北と真北…P.87

- 北方位を示してから計測を続けています。**1**秒針の方位は20秒くらいで固定されます。
- 再計測するときは、もう一度**C**ボタンを押してください。
- 1～2分で現在時刻の表示に戻ります。

## 方位の補正

計測の精度を上げるため、計測の前に以下の方法で方位を補正することをおすすめします。

### ◆2点補正と北方位補正

2点補正は、**1**秒針を磁北に正しく向けるためのセンサーの補正です。正確な方位計と比較して、方角がずれている場合や、登山前の準備でお使いになることをおすすめします。北方位補正は、正しい方位(磁北または真北)がわかっている、意図して**1**秒針が示す方位を設定するときにお使いください。

 磁北と真北…P.87

### ✓重要

- 補正中は、時計を水平にして動かさないでください。
- 計測の度に2点補正をすれば、より正確な計測値が得られます。使用する環境が変わるたびに2点補正をしてください。

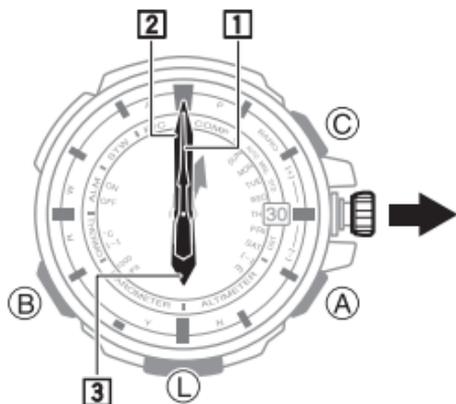
- 家庭電化製品、OA機器、携帯電話の近くなど、強い磁力がある場所では正しく補正できない可能性があります。

## 2点補正

### ✓重要

セットする2点は正確に180度反対方向にしてください。

- 方位計測モードに切り替えます。
- ロックを解除してから、りゅうずを引きます。  
以下の位置に針が移動します。



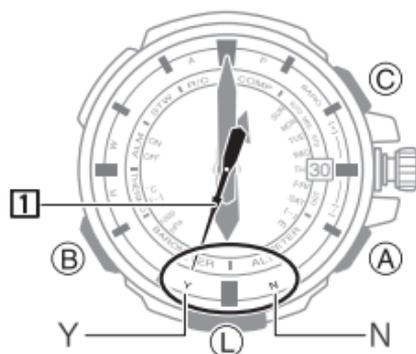
1秒針／2分針：12時位置

3時針：6時位置

### ③ ㉓ ボタンを押します。

1点目の補正計測の結果により**1**秒針が「Y」または「N」に移動します。

- 「Y」や「N」を示すまで時計を動かさないようにしてください。また、「Y」や「N」を示すまで7秒ほどかかります。

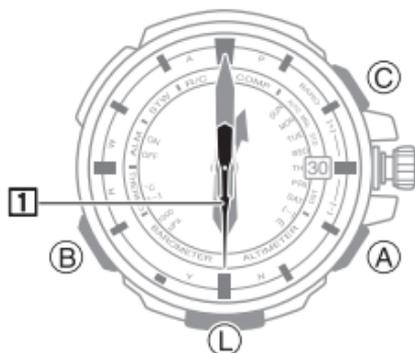


Y:補正OK

N:補正NG

- **1**秒針が「Y」を示したら、1点目の補正は完了です。
- **1**秒針が「N」を示したときは、もう一度㉓ボタンを押して補正してください。

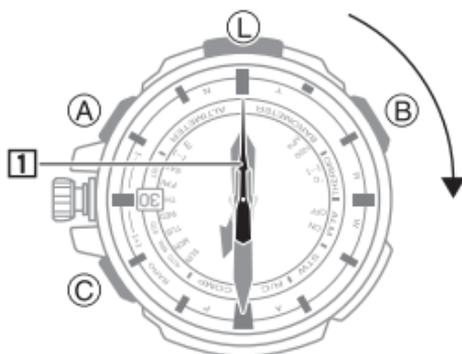
1点目の補正が完了すると、2秒後に**1**秒針が以下の位置に移動します。



**1**秒針:6時位置

これで、2点目の補正計測の準備ができました。

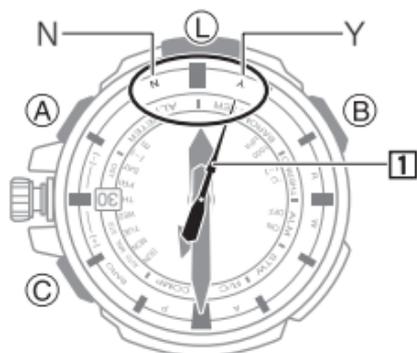
**4** 時計を180度回転させます。



## 5 ⑤ ボタンを押します。

2点目の補正計測の結果により**1**秒針が「Y」または「N」に移動します。

- 「Y」や「N」を示すまで時計を動かさないようにしてください。また、「Y」や「N」を示すまで7秒ほどかかります。



Y:補正OK

N:補正NG

- **1**秒針が「Y」を示したら、2点補正は完了です。
- **1**秒針が「N」を示したときは、もう一度手順3から操作してください。

## 6 ⑥ りゅうずを戻し、ロックします。

補正が確定します。

補正が完了していないときは、補正中の処理は取り消されます。りゅうずを戻すと、方位を再計測します。

## 北方位補正

### ✓重要

2点補正と北方位補正をともに操作するときは、以下の順に操作してください。

1. 2点補正
2. 北方位補正

操作の順を誤ると、北方位補正で設定した方位が解除されます。

- ① 方位計測モードに切り替えます。
- ② ロックを解除してから、りゅうずを引きます。以下の位置に針が移動します。

①秒針／②分針：12時位置

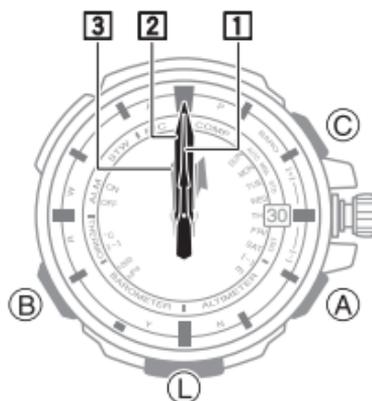
③時針：6時位置

- 2点補正の手順2と同じ状態になります。

 2点補正…P.77

### ③ ③ボタンを押します。

以下の位置に針が移動します。



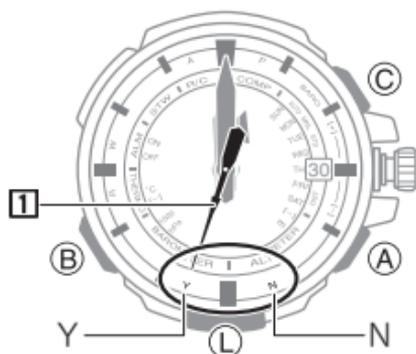
①秒針／②分針／③時針：12時位置

### ④ 時計の12時位置を北に向けます。

## 5 ㉓ボタンを押します。

補正計測の結果により**1**秒針が「Y」または「N」に移動します。

- このとき、「Y」や「N」を示すまで時計を動かさないようにしてください。また、「Y」や「N」を示すまで7秒ほどかかります。



Y:補正OK

N:補正NG

- **1**秒針が「Y」を示したら、北方位補正は完了です。
- **1**秒針が「N」を示したときは、もう一度㉓ボタンを押して補正してください。

## 6 りゅうずを戻し、ロックします。

補正が確定します。

補正が完了していないときは、補正中の処理は取り消されます。りゅうずを戻すと、方位を再計測します。

## 使用例

登山やトレッキングでは、自分がいる場所と目的地を把握しながら行動します。そのために、地図の方向と実際の風景の方向を合わせなければなりません。これが「整置(正置)」です。

- この時計を使うときは、地図の北方向と時計の北方向を合わせることで整置ができます。

### ◆ 地図の方向と実際の風景を合わせる (整置)

#### ① 時刻モードにします。

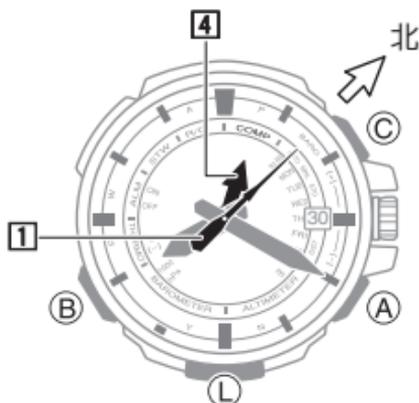
 モードの切り替え…P.54

② 時計を水平に保ちながら**④**ボタンを押します。

**④**モード針が「COMP」を示します。

**①**秒針が「0」を示すと、計測開始です。

計測開始から3秒以内に、**①**秒針が北方位を示します。

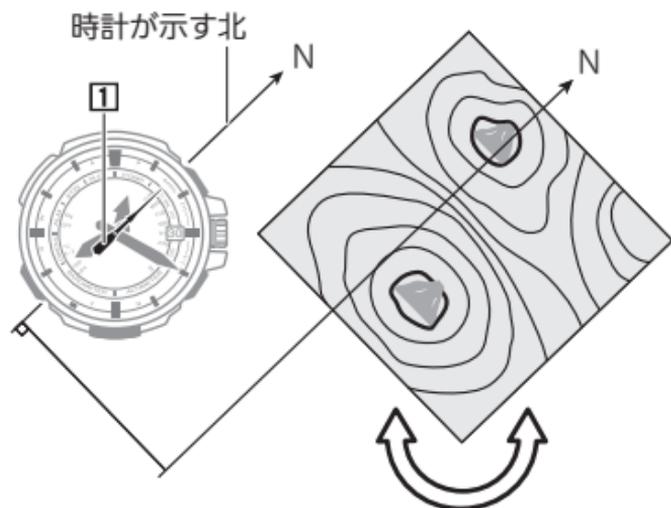


- 再計測するときは、もう一度**④**ボタンを押してください。

### ③ ①秒針が示す北方位と地図の北方向を一致させます。

時計は動かさないで、地図だけを回転させます。

- これで整置ができました。



地図と周囲の風景を見比べて、現在地や目的地を確認します。

- 現在地や目的地を確認するには、地図を読むための知識と経験が必要です。

## 方位計測のご注意

### ◆磁北と真北

北を示す地理用語には磁北と真北の2種類があります。

磁北:コンパス(方位磁針)が示す北

真北:北極点の方向

下図のとおり、磁北と真北は一致していません。



## ◆使用場所

地磁気に強く影響を及ぼすものの近くで計測すると、計測値に誤差が発生します。以下のものからは離してご使用ください。

永久磁気(磁気アクセサリーなど)、金属(金属製ドア、ロッカーなど)、高圧線、架線、家庭電化製品、OA機器、携帯電話

- 電車、船、飛行機などの乗り物の中では、正確な計測はできません。
- 室内、特に鉄筋コンクリート構造の建物内では正確な計測はできません。

## ◆保管場所

時計本体が磁気を帯びた場合、方位計測の精度に影響を及ぼす恐れがあります。永久磁気(磁気アクセサリーなど)、家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの強い磁気を帯びたものの近くに置かないでください。

計測した方位に誤りがある場合、時計本体が磁気を帯びている可能性があります。2点補正をしてください。



# 高度計測

気圧の変化量を計測して、高度を表示します。

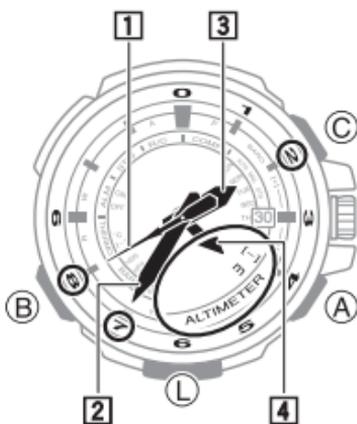
- 時計内蔵の圧力センサーで計測した気圧の変化量を高度に換算します。

 高度計について…P.96

## 針の見方

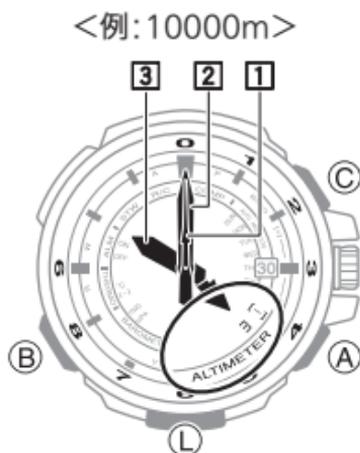
高度は以下のように読み取ります。

<例:2780m>



- 4**モード針: 高度がプラスのときは「m」、マイナスのときは「-」を示します。
- 3**時針: 1000の位を示します。
- 2**分針: 100の位を示します。
- 1**秒針: 10の位を示します。

- 高度1万mの場合は、**3**時針が10時位置を示します。  
**2**分針、**1**秒針は「0」を示します。



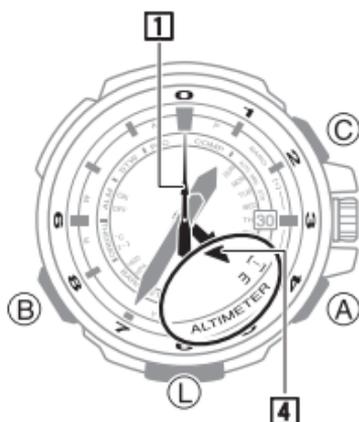
## 高度を計測する

### ① 時刻モードにします。

🔍 モードの切り替え…P.54

### ② ①ボタンを押します。

④モード針が、「ALTIMETER」の位置にある「m」を示すと、高度計測モードです。



①秒針が「0」を示すと、計測開始です。

計測開始から10秒以内に計測結果を表示します。

- 1～2分で現在時刻の表示に戻ります。
- 再計測するときは、もう一度①ボタンを押してください。

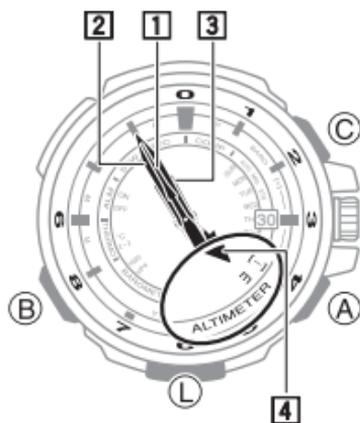
## ◆高度表示

計測単位: 10m

計測範囲: -700m~10,000m

表示範囲: -3,000m~10,000m

高度がセンサーの計測範囲外の場合は、針は以下の位置を示します。



**1**秒針／**2**分針／**3**時針: 11時位置

**4**モード針: 「m」

高度の値を補正している場合は、補正を取り消すと計測範囲内になることがあります。

 高度の補正…P.94

## 高度の補正

気圧の変化、大気の温度変化および標高差による温度変化のため、高度の計測値に誤差が発生することがあります。登山のときなどは、高度の標識と時計が示す高度を照らし合わせ、高度の値を補正してください。補正の取り消しについても、以下の手順で説明します。

### ✓重要

補正を誤ると正しい計測結果が得られません。標識などと照らし合わせて正しい数値に補正してください。

**① 高度計測モードに切り替えます。**

**② ロックを解除してから、りゅうずを引きます。**

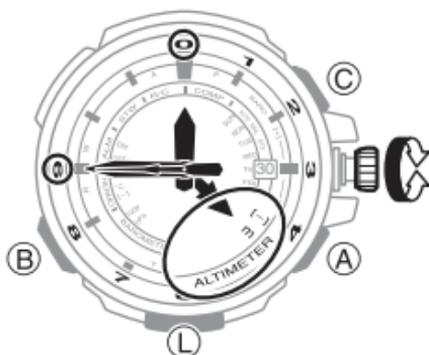
すでに高度を計測済みのときは、計測済みの高度を表示します。

計測していないときは、そのときに計測した高度を10秒くらいで表示します。

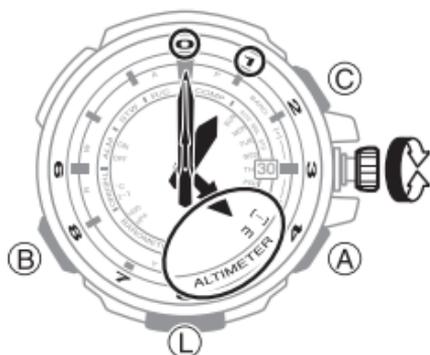
### ③ りゅうずを回して、高度の値を合わせます。

- りゅうずを回すと、針が10メートル単位で動きます。
- 高度を補正できる範囲は-3,000m~10,000mです。
- 桁の繰り上がり、繰り下がりにご注意ください。

<例:990m>



<例:1000m>



#### ✓重要

補正を取り消すときは、りゅうずを引いた状態で、以下の操作をしてください。

- ①ボタンと③ボタンを同時に押します。  
ピッと音が鳴ります。

### ④ りゅうずを戻し、ロックします。

補正後の高度を表示します。

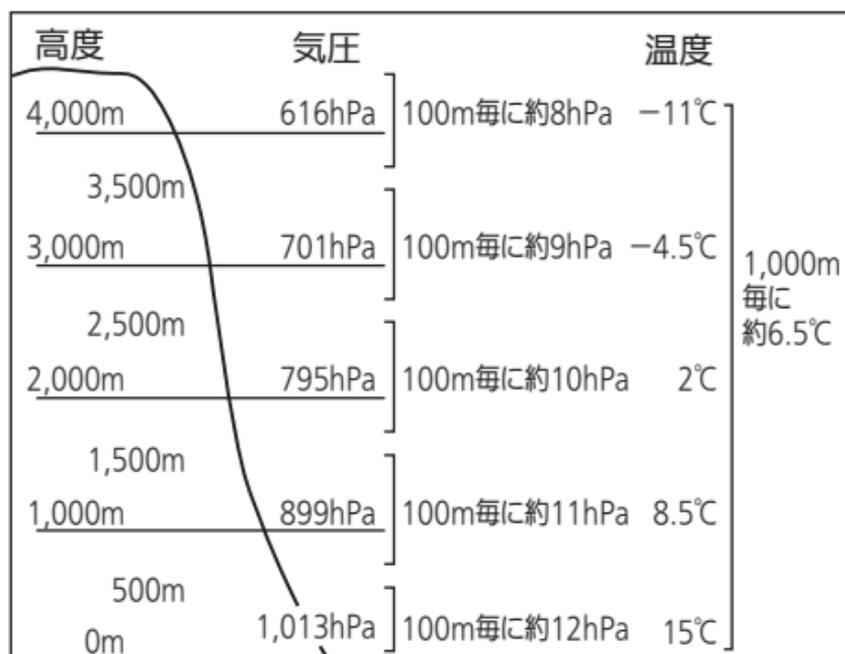
1~2分後に現在時刻の表示に戻ります。

高度を補正すると、次回からは補正後の高度を基準にして計測します。

## 高度計について

この時計では、国際民間航空機関(ICA0)が定めている国際標準大気(ISA)の定義をもとに、相対高度を表示します。

- 一般的には、高度が上がると気圧は低くなり、温度は下がります。



(国際標準大気より)

以下の条件下では、正しい計測ができない場合があります。

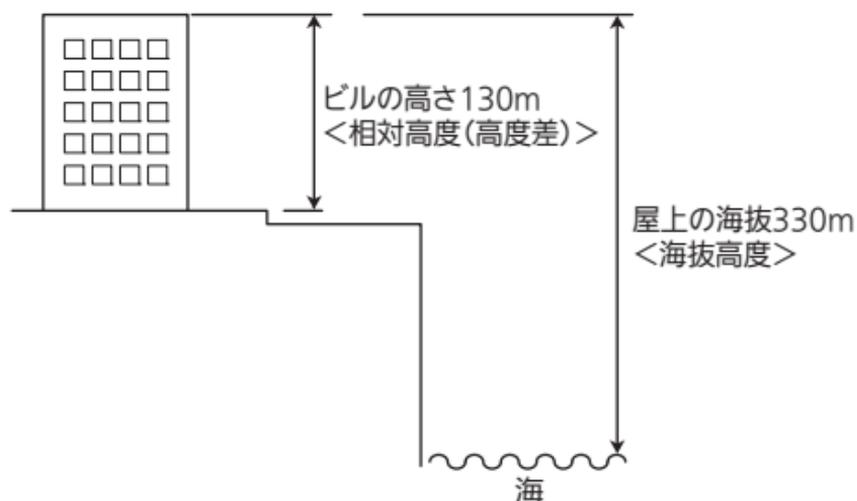
- 気象条件により、大気圧に変化が生じたとき
- 気温の変化が大きいとき
- 時計が強い衝撃を受けたとき

### 参考

高度の表し方には以下の2つがあり、この時計は相対高度を計測しています。

- 海拔高度:海面からの高度を表します。
- 相対高度:2つの場所の高さの差を表します。

#### <海拔高度と相対高度>



## 高度計測のご注意

- この時計は、計測した気圧を高度に換算しています。気圧の変化によって、同じ場所でも高度の計測結果が異なることがあります。
- 高度を計測するときはできるだけ時計自体の温度を一定に保ってください。温度変化の影響を受けると多少の誤差が出る場合があります。

 製品仕様 センサー精度...P.144

- スカイダイビング、ハンググライダー、パラグライダーをしているとき、またはジャイロコプター、グライダーのように短時間で高度が変化する場合は、使用しないでください。
- この時計で計測した高度を専門的または産業レベルで利用しないでください。
- 航空機内の気圧で高度を計測するため、航空機内でアナウンスされる高度と、この時計で計測した高度は一致しません。



# 気圧計測

時計が計測した気圧や気圧差を表示します。

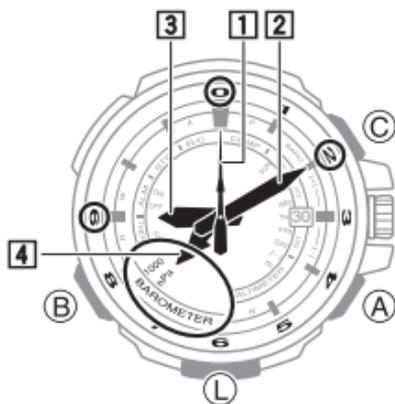
気圧差がわかると天気の傾向を予測することができます。

- 気圧と気圧差は、時計に内蔵の圧力センサーで計測します。

## 針の見方

気圧は以下のように読み取ります。

<例:920hPa>



**4**モード針:計測した気圧が1000hPa未満のときは「hPa」、1000hPa以上のときは「1000」を示します。

**3**時針:100の位を示します。

**2**分針:10の位を示します。

**1**秒針:1の位を示します。

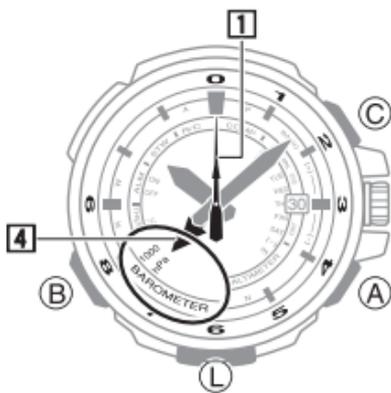
## 気圧を計測する

### ① 時刻モードにします。

🔍 モードの切り替え…P.54

### ② (B) ボタンを1回押します。

④ モード針が、「BAROMETER」の位置にある「hPa」を示すと、気圧計測モードです。



① 秒針が「0」を示すと、計測開始です。

計測開始から10秒以内に計測結果を表示します。

- 1～2分で現在時刻の表示に戻ります。

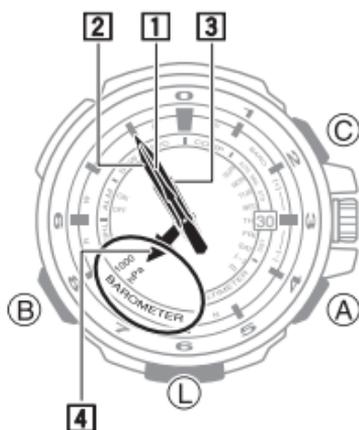
## ◆ 気圧表示

計測単位: 1hPa

計測範囲: 260hPa~1100hPa

表示範囲: 260hPa~1100hPa

気圧がセンサーの計測範囲外の場合は、針は以下の位置を示します。



1 秒針 / 2 分針 / 3 時針: 11時位置

4 モード針: 「hPa」

気圧の値を補正している場合は、補正を取り消すと計測範囲内になることがあります。

 気圧の補正…P.106

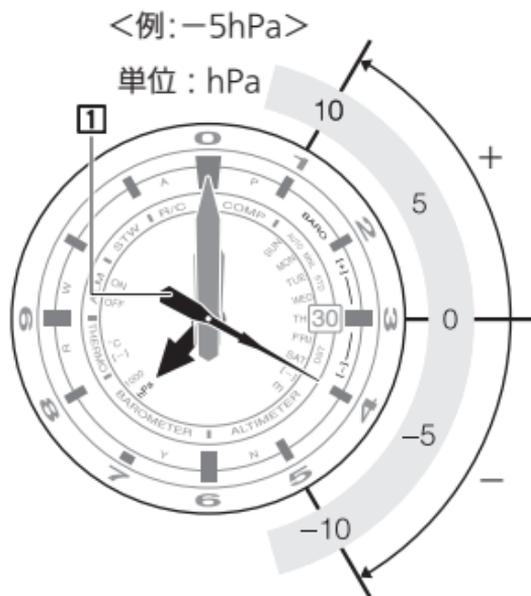
## 気圧差を調べる(気圧差インジケーター)

この時計は、2時間ごと(0:30、2:30など偶数時の30分)に気圧を自動計測しています。自動計測した気圧と手動で計測した最新の気圧の差を表示できます。気圧の差により、天気傾向を予測することができます。一般的には、以下の傾向があります。

気圧が高くなりつつあるとき(+)...天気は回復傾向

気圧が低くなりつつあるとき(-)...天気は下り坂傾向

### ◆気圧差インジケーターの見方



①秒針:気圧差を±10hPaの範囲で表示します(1hPa単位)。

## 気圧差を表示する

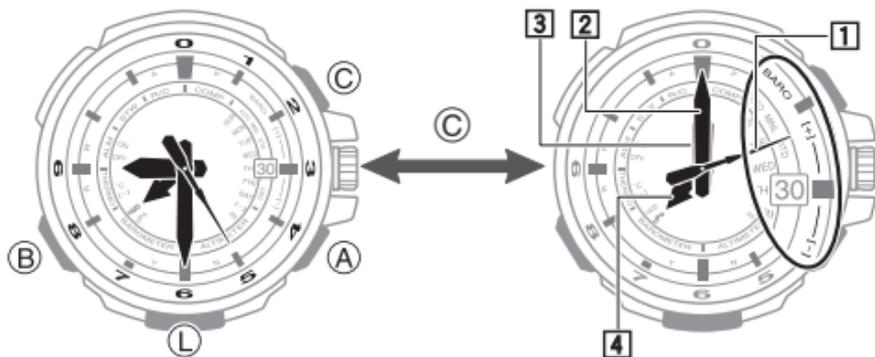
### ● 気圧表示のときに、**Ⓒ**ボタンを押します。

自動計測した気圧と**Ⓒ**ボタンを押したときに計測した気圧の差を表示します。

- **Ⓒ**ボタンを押すたびに、気圧表示と気圧差インジケータの表示が切り替わります。

<気圧表示>

<気圧差インジケータ>



- 気圧差インジケータでは、**1**秒針を除き、針は必ず以下の位置を示します。  
**2**分針/**3**時針:12時位置  
**4**モード針:「hPa」
- 別のモードから気圧計測モードに戻ったときは、前回の表示(気圧表示または気圧差インジケータ)になります。

**参考**

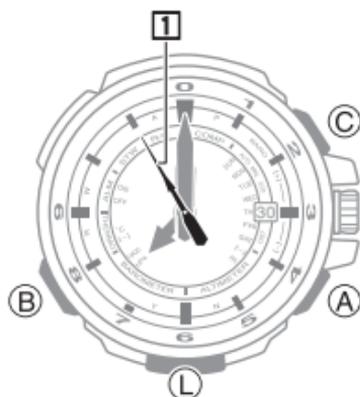
記憶されている気圧の値は自動計測の度に更新されます。

**◆気圧差インジケータ**

表示単位: 1hPa

表示範囲: ±10hPa

気圧差が±10hPaの範囲を超えたときは、針は以下の位置を示します。



**1**秒針: 11時位置

## 気圧の補正

この時計に内蔵している圧力センサーは、工場出荷時に調整済みであり、通常は調整の必要はありません。ただし、正確な気圧計と比べて計測値にずれがある場合は、計測値を補正することができます。

補正の取り消しについても、以下の手順で説明します。

### ✓重要

補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な気圧計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。

① 気圧計測モードに切り替えます。

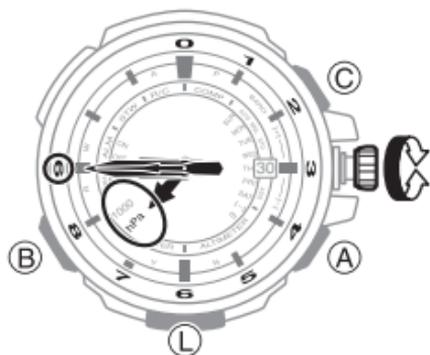
② ロックを解除してから、りゅうずを引きます。

すでに気圧を計測済みのときは、計測済みの気圧を表示します。計測していないときは、その時点で計測した気圧を10秒くらいで表示します。

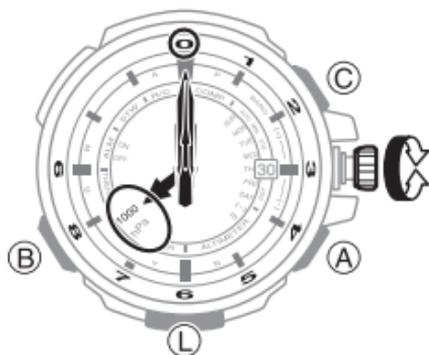
③ りゅうずを回して、気圧の値を補正します。

- りゅうずを回すと、針が1hPa単位で動きます。
- 気圧を設定できる範囲は260hPa～1100hPaです。
- 桁の繰り上がり、繰り下がりにご注意ください。

<例:999hPa>



<例:1000hPa>



**✓重要**

補正を取り消すときは、りゅうずを引いた状態で、以下の操作をしてください。

- (A)ボタンと(C)ボタンを同時に押します。  
ピッと音が鳴ります。

**④ りゅうずを戻し、ロックします。**

補正後の気圧を表示します。

1~2分後に現在時刻の表示に戻ります。

## 気圧計測のご注意

- 圧力センサーは、急激な温度の変化に影響を受ける場合があります。
- 急激な温度の変化に圧力センサーが影響を受けたときは、計測した数値に多少の誤差が出ることがあります。

 製品仕様 センサー精度…P.144



# 温度計測

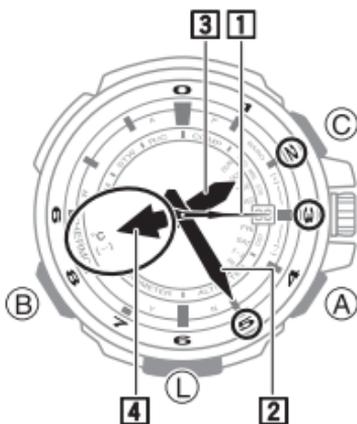
時計が計測した温度を表示します。

- 温度は時計に内蔵の温度センサーで計測します。

## 針の見方

温度は以下のように読み取ります。

<例:25.3℃>



**4**モード針: 計測した温度がプラスのときは「℃」、  
マイナスのときは「-」を示します。

**3**時針: 10の位を示します。

**2**分針: 1の位を示します。

**1**秒針: 小数第一位を示します。

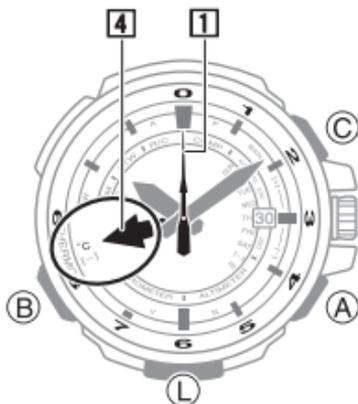
## 温度を計測する

### ① 時刻モードにします。

🔍 モードの切り替え…P.54

### ② ④ボタンを2回押します。

④モード針が、「THERMO」の位置にある「℃」を示すと、温度計測モードです。



①秒針が「0」を示すと、計測開始です。  
計測開始から8秒以内に計測結果を表示します。

- 1～2分で現在時刻の表示に戻ります。

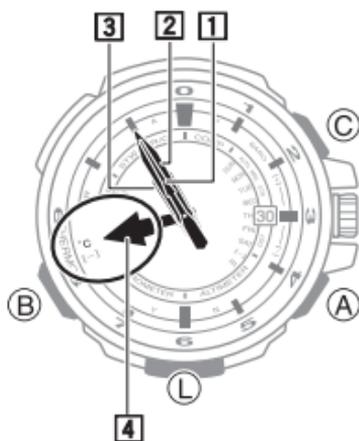
## ◆温度表示

計測単位:0.1℃

計測範囲:−10.0℃~60.0℃

表示範囲:−10.0℃~60.0℃

温度がセンサーの計測範囲外の場合は、針は以下の位置を示します。



**1**秒針／**2**分針／**3**時針:11時位置

**4**モード針:「℃」

温度の値を補正している場合は、補正を取り消すと計測範囲内になることがあります。

## 温度の補正

この時計に内蔵している温度センサーは、工場出荷時に調整済みであり、通常は調整の必要はありません。ただし、正確な温度計と比べて計測値にずれがある場合は、計測値を補正することができます。

補正の取り消しについても、以下の手順で説明します。

### ✓重要

- 補正を誤ると正しい計測結果が得られません。正確な温度計と照らし合わせて正しい数値に補正してください。
- 時計を腕から外し、時計本体が周囲の温度になじむまで（20～30分）待ってから、補正してください。

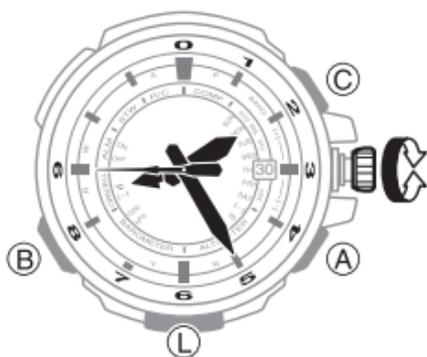
① 温度計測モードに切り替えます。

② ロックを解除してから、りゅうずを引きます。

すでに計測済みのときは、計測済みの温度を表示します。計測していないときは、その時点で計測した温度を8秒くらいで表示します。

③ りゅうずを回して、温度の値を調整します。

- りゅうずを回すと、針が0.1℃単位で動きます。
- 温度を設定できる範囲は-10.0℃～60.0℃です。



### ✓重要

補正を取り消すときは、りゅうずを引いた状態で、以下の操作をしてください。

- ①ボタンと②ボタンを同時に押します。  
ピッと音が鳴ります。

**④ りゅうずを戻し、ロックします。**

設定した温度を表示します。

1～2分後に現在時刻の表示に戻ります。

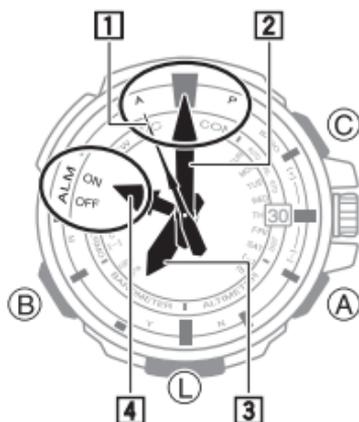
**温度計測のご注意**

温度計測は体温、直射日光、湿気の影響を受けます。正確に周囲の温度を計測するためには、腕から時計を外し、水分を拭き取り、換気が良く直射日光が当たらない所に置いてください。約20～30分で計測できるようになります。

# アラーム

アラームをオンにすると、設定時刻にアラーム音が10秒間鳴ります。

## 針の見方



- 4 モード針:アラームのON/OFFを示します。
- 3 時針/2 分針:アラームが鳴る時刻を表示します。
- 1 秒針:午前/午後を表示します。
  - 午前のときは「A」を示します。午後のときは「P」を示します。

## アラーム時刻を設定する

### ① 時刻モードで、**ⓑ** ボタンを3回押します。

**④** モード針が、「ALM」の位置にある「ON」または「OFF」を示すと、アラームモードです。

このとき、**①** 秒針が「A」または「P」を示します。「A」は午前を表し、「P」は午後を表します。

#### 参考

アラームモードのまま2～3分間操作をしないと、時刻モードに切り替わります。

 時刻モードへの自動切り替え…P.57

### ② ロックを解除してから、りゅうずを引きます。

- 秒針が文字板の上を一周します。

### ③ りゅうずを回して、アラーム時刻の「分」を設定します。

- 針の動きは早送りできます。早戻しはできません。
- **③** 時針は**②** 分針に連動して動きます。りゅうずを回し続けると「時」も合わせることができます。

 りゅうずの操作…P.26

**4** ③ボタンを押します。

③時針が小さく動いて、「時」を設定できる状態になったことのお知らせします。

**5** りゅうずを回して、アラーム時刻の「時」を設定します。

針の動きは早送りできます。早戻しはできません。

**6** りゅうずを戻し、ロックします。

 **参考**

りゅうずを引いた状態で2～3分何も操作をしないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。





## 計測する

- ① 時刻モードで、**ⓑ** ボタンを4回押します。

 モードの切り替え…P.54

④モード針が「STW」の位置を示すと、ストップウォッチモードです。

- ② 計測するときのボタン操作は、以下の通りです。

Ⓒ → Ⓒ → Ⓒ → Ⓒ → Ⓐ  
スタート    ストップ    (再スタート)    (ストップ)    リセット

- ③ 計測終了後は、**Ⓐ** ボタンを押して計測値をリセットします。

### 参考

- 計測中にりゅうずを引いても計測は継続します。
- 計測中にりゅうずを引くとボタン操作はできません。

# 針や日付のずれ補正

強い磁気や衝撃を受けると、針や日付の表示がずれることがあります。この状態では電波を受信しても正確な時刻が表示できなくなります。

針のずれは自動的に補正します。

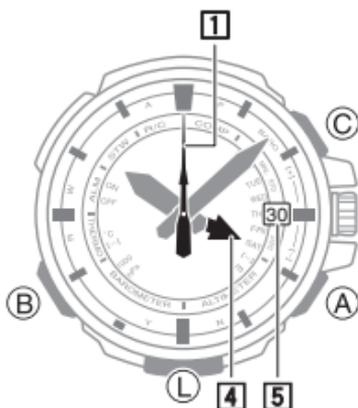
日付の表示がずれているときは、手動で補正してください。

 針や日付のずれを補正する…P.123

## 針や日付のずれを補正する

### ✓重要

正しい時刻を表示しているときは、この操作は必要ありません。



- 1 秒針
- 4 モード針
- 5 日付

- ① 時刻モードで、ロックを解除してから、りゅうずを引きます。
- ② ④ ボタンを、①秒針が12時位置に動くまで、5秒以上押し続けます。
  - ①秒針が12時位置に移動したら、④ボタンから指を離します。すると、⑤日付を除くすべての針の補正を、自動的に開始します。
  - すべての針が12時位置に移動して、針の補正が完了します。

### 参考

日付の補正をしない場合は、ここでりゅうずを戻し、ロックしてください。

- ③ ④ ボタンを押します。
- ④ ⑤日付が1を表示していることを確認します。
  - 日付の1が中央からずれているときは、りゅうずを回して中央に合わせてください。
  - りゅうずを引いた状態で、すばやくりゅうずを時計回り、または、反時計回りに回すと、自動送りができます。
  - 自動送りを止めるには、りゅうずを逆に回します。

## ⑤ りゅうずを戻し、ロックします。

時刻の表示に戻ります。

### 参考

補正の途中でりゅうずを戻すと以下ようになります。

- 針の動作中にりゅうずを戻すと、補正されません。
- 日付の数字が動作中にりゅうずを戻すと、針の位置だけ補正されます。

### 重要

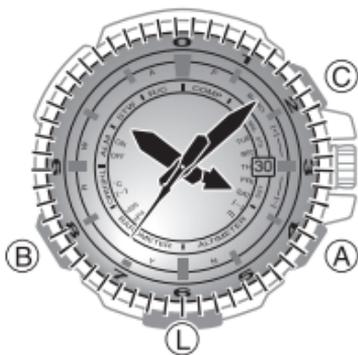
この時計は、時刻がAM2:55付近になると、針位置が正しいかどうかを確認するために、約30秒間、**④**モード針が12時位置へ移動するなどの動作をします。針位置が正しい場合は、約30秒で通常の針の動きに戻ります。ここで針位置がずれていた場合は、自動的に針位置の補正が開始され、補正の完了後、通常の針の動きに戻ります。

# ライト

暗いところで時計の表示を見るときに、LEDライトを点灯させて画面を明るくすることができます。また、暗いところで時計の傾きによってライトを点灯させるオートライト機能を設定できます。

## ボタンを押して点灯させる

● ① ボタンを押すと、ライトが点灯します。

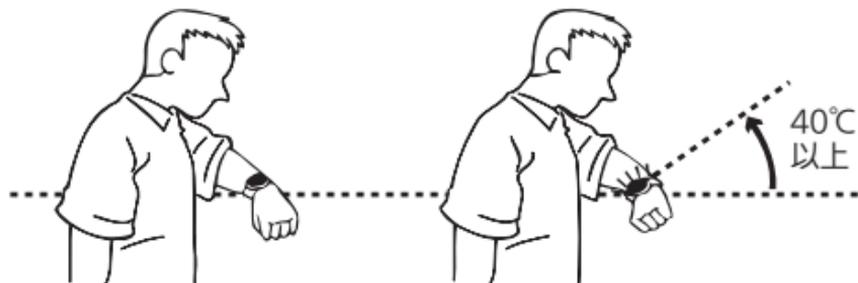


### 参考

- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- センサー計測中や針が早送りされているときは、ライトは点灯しません。

## 自動的に点灯させる(オートライト)

オートライト機能がONのとき、時計を40°以上傾けるとライトが点灯します。



### 参考

- 明るいところでは点灯しません。
- 以下の状態のとき、オートライト機能は作動しません。
  - アラーム音が鳴っているとき
  - センサー計測しているとき
  - 針が早送りされているとき

## ◆オートライトの ON/OFF 設定

●時刻モードで、**(L)** ボタンを3秒以上押し続けて、オートライト機能のON/OFFを切り替えます。

- ONに切り替えると、2回音が鳴ります。
- OFFに切り替えると、1回音が鳴ります。

## ◆オートライトに関する注意事項

●以下の図のように、時計が水平状態から15度以上傾いていると、点灯しにくくなります。



- 時計が袖などに隠れていると、ライトが頻繁に点灯して充電量が低下します。
- 静電気や磁気の影響でオートライトが作動しないことがあります。その場合、もう一度時計を水平状態にしてから傾けてください。
- 時計を傾けたとき、内部から「カラカラ」と音がする場合があります。これは、オートライトスイッチの作動音で、故障ではありません。

## 点灯時間を切り替える

① 時刻モードで、ロックを解除してから、りゅうずを引きます。

- ①秒針が現在選択している都市コードを示します。
- ④モード針が現在のサマータイムの設定を示します。

② ④ボタンを3秒間押し続けて、点灯時間を切り替えます。

④ボタンを3秒間押し続ける度に、以下のように切り替わります。

点灯時間	
1.5秒	ピッと音が鳴ります。
3秒	ピッピッピッと音が鳴ります。

③ りゅうずを戻し、ロックします。

# お困りのときは

## 針の動きと表示

状況	原因と対処
現在の表示モードがわからない	りゅうずをロックした後、 <b>B</b> ボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに戻ってください。  モードの切り替え…P.54
秒針が2秒ごとに動いている	充電量が不足しています。光に当てて充電してください。  充電するには…P.34
すべての針が12時位置で停止し、ボタン操作ができない	充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。  充電にかかる時間…P.37

状況	原因と対処
突然、針の動きが速くなった	<p>以下が原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パワーセービング機能を解除し、復帰している。 <ul style="list-style-type: none"> <li> 節電（パワーセービング機能） …P.38</li> </ul> </li> <li>● 電波の自動受信により、時刻修正をしている。 <ul style="list-style-type: none"> <li> 電波を受信するには…P.46</li> </ul> </li> <li>● 時刻モードに自動的に切り替わっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li> 時刻モードへの自動切り替え …P.57</li> </ul> </li> </ul>
針が異常な動きをしている	<p>針の位置を補正しています。補正が完了すると、通常の針の動きになります。しばらくお待ちください。</p>

状況	原因と対処
針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった	<p>充電回復モードの状態です。回復するまで（約 15 分）お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。</p> <p> <b>参考</b>            ライト、方位計測、高度計測、気圧計測、温度計測などを短時間に連続使用すると充電量が急激に減少するため、一時的に針の動きを停止して充電回復モードに切り替わります。充電回復モードのときは、すべての機能が使用できなくなりますが、回復すると通常の状態に戻ります。</p>
現在時刻の表示が数時間ずれている	<p>都市の設定が正しくありません。都市の設定を確認してください。</p> <p> 都市の設定…P.58</p>

状況	原因と対処
<p>現在時刻の表示が1時間ずれている</p>	<p>サマータイム設定の「STD (スタンダードタイム)」と「DST (サマータイム)」が正しくありません。</p> <p> スタンダードタイムとサマータイムの設定…P.61</p> <hr/> <p>サマータイム設定の「STD (スタンダードタイム)」または「DST (サマータイム)」が手動設定になっています。</p> <p> スタンダードタイムとサマータイムの設定…P.61</p>
<p>時刻と日付の表示位置がずれている</p>	<p>強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。ずれを補正してください。</p> <p> 針や日付のずれを補正する…P.123</p>
<p>ボタンを操作しても反応がない</p>	<p>りゅうずを操作した後は、ボタンの操作が効かなくなる場合があります。その場合は、りゅうずを少し動かしてから、ボタンを操作しなおしてください。</p>

## りゅうずの操作

状況	原因と対処
りゅうずを回しても、何も操作ができない	りゅうずを引いたまま2～3分何も操作をしないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。  りゅうずの操作…P.26

## 操作音

状況	原因と対処
音が鳴るはずの操作で音が鳴らない	充電量が不足しています。光に当てて充電してください。  充電するには…P.34

## センサー

状況	原因と対処
<p>計測エラーを表示した</p> <p><b>方位計測時</b></p>  <p><b>高度計測時</b></p>  <p><b>気圧計測時</b></p>  <p><b>温度計測時</b></p> 	<p>センサーや内部回路で異常を検出するとエラーを表示し、センサーを使った計測や補正ができなくなります。</p> <p>方位計測時は、強い磁力があるもの（磁気アクセサリーなど）が近くにあるとエラーを表示することがあります。</p> <p>計測中にエラーを表示したときは、計測をやり直してください。計測をやり直してもエラーを表示した場合は、センサーや内部回路の故障が考えられます。「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。</p>

状況	原因と対処
正確な方位計測ができない	<p>磁力の影響を受けている可能性があります。方位センサーを補正してください。</p> <p> 2点補正…P.77</p> <p>家電、橋梁、鉄骨、架線など強力な磁気の近くや、電車、船などでの計測。鉄製のものから離れてから、計測をやり直してください。</p> <p> 方位計測のご注意…P.87</p>
同じ場所で計測結果が異なる	<p>近くのノイズ源（高圧電線など）の影響により、地磁気の検出が安定していません。ノイズ源から離れ、計測し直してください。</p>
室内での方位計測ができない	<p>テレビ、パソコン、スピーカーなどの磁気の方角を乱す物体が地磁気の検出を妨げています。影響を及ぼすものから離れる、もしくは屋外で再計測してください。特に、鉄筋コンクリート構造の室内では、正確な計測はできません。また、電車や航空機の中での正確な計測はできません。</p>

**充電**

状況	原因と対処
光に当てても操作できない	充電切れになると操作ができなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。  充電にかかる時間…P.37

## 電波受信

この項目は、以下の都市を設定している場合に該当します。  
TYO(TOKYO), HKG(HONG KONG), LAX(LOS ANGELES), DEN(DENVER), CHI(CHICAGO), NYC(NEW YORK), HNL(HONOLULU), ANC(ANCHORAGE), LON(LONDON), PAR(PARIS), ATH(ATHENS)

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない (受信結果が「N(NO)」になる)	電波受信中に時計を動かしたり、ボタンを操作した。 電波を受信させるときは、受信の場所に注意して、時計が受信をしやすい環境に置いてください。  受信場所…P.45
	電波受信中にアラームが鳴った。 受信中にアラームが鳴ると受信を中止します。
	電波障害による受信の失敗。 周辺を確認し、電波障害のない所で受信してください。  電波の受信範囲と条件…P.42

状況	原因と対処
電波の受信が成功しない (受信結果が「N(NO)」になる)	<p>送信所から電波が発信されていない可能性があります。</p> <p>独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページなどをご確認ください。</p> <p> 電波の受信範囲と条件…P.42</p>
電波が自動受信できない	<p>時刻モードになっていません。</p> <p>りゅうずをロックした後、<b>Ⓑ</b> ボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに切り替えてください。</p> <p> 電波を受信するには…P.46</p>
	<p>都市の設定が正しくない可能性があります。</p> <p>都市の設定を確認してください。</p> <p> 都市の設定…P.58</p>
	<p>充電量が不足しています。</p> <p>充電量が回復するまで光を当ててください。</p> <p> 充電不足や充電切れ…P.36</p>

## アラーム

状況	原因と対処
アラームが鳴らない	設定が「OFF」になっています。 「ON」に切り替えてください。  アラームの ON/OFF を切り替える …P.119
	充電量が不足しています。 充電量が回復するまで光を当ててください。  充電不足や充電切れ…P.36
	りゅうずを引いた状態になっています。 りゅうずの位置を戻してください。
	午前「A」と午後「P」の設定に誤りがあるかもしれません。  アラーム時刻を設定する…P.117



# 製品仕様

- 精 度 : 電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±15秒
- 基本機能 : 時 (2分ごとに針が動きます)・分 (10秒ごとに針が動きます)・秒、日付 (2000～2099年までのフルオートカレンダー)、曜日、世界29都市と協定世界時 (UTC) の時刻を表示、サマータイム設定機能
- 電波時計機能 : 自動受信・手動受信  
受信結果確認機能  
スタンダードタイム/サマータイムの自動/手動切り替え  
受信局自動選択機能 (JJY、MSF/D CF77 に対応)  
受信電波=コールサイン : JJY (40kHz/60kHz)、BPC (68.5kHz)、WWVB (60kHz)、MSF (60kHz)、DCF77 (77.5kHz)
- 方位計測機能 : 方位補正機能 (2点、北方位)、20秒間の連続計測機能、北方位指針

- 高度計測機能 : 計測範囲 =  $-700\text{m} \sim 10,000\text{m}$   
表示範囲 =  $-3,000\text{m} \sim 10,000\text{m}$   
表示単位 =  $10\text{m}$   
1 回計測  
高度補正機能
- 気圧計測機能 : 計測範囲 =  $260\text{hPa} \sim 1,100\text{hPa}$   
表示範囲 =  $260\text{hPa} \sim 1,100\text{hPa}$   
計測単位 =  $1\text{hPa}$   
1 回計測  
気圧差インジケータ  
気圧補正機能
- 温度計測機能 : 計測範囲 =  $-10.0^{\circ}\text{C} \sim 60.0^{\circ}\text{C}$   
表示範囲 =  $-10.0^{\circ}\text{C} \sim 60.0^{\circ}\text{C}$   
計測単位 =  $0.1^{\circ}\text{C}$   
1 回計測  
温度補正機能

センサー精度：

●方位センサー 計測精度=±12°以内  
(精度保証温度範囲=-10℃~40℃)

●圧力センサー

	条件 (高度)	高度計	気圧計
温度一定のとき	0m ~ 6,000m	± (高度差 x2% +15m)	± (気圧差 x2% +2hPa)
	6,000m ~ 10,000m	± (高度差 x2% +25m)	
温度変化による影響	0m ~ 6,000m	10℃につき ± 50m	10℃につき ± 5hPa
	6,000m ~ 10,000m	10℃につき ± 70m	

- 精度保証温度範囲=-10℃~40℃
- 強い衝撃を与えたり、極端な温度環境下に放置したりすると、精度に対して悪影響を与えることがあります。

●温度センサー 計測精度=±2℃以内  
(精度保証温度範囲=-10℃~60℃)

- アラーム機能 : 時刻アラーム  
セット単位=時・分  
アラーム報音時間= 10 秒間
- ストップ : 計測単位= 1秒  
ウォッチ機能 : 計測範囲= 11時間59分59秒  
(12時間計)  
計測機能= 経過時間
- その他 : LED ライト、ライト点灯時間切り替え、フルオートライト、パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能、針位置自動補正機能
- 使用電池 : 二次電池
- 持続時間 : 約7ヵ月

アラーム : 10 秒/日  
ライト 1.5 秒 (1 回) /日  
秒針の運針 : 18 時間/日  
電波受信 : 4 分/日  
方位計測 : 20 回/月  
(連続計測 20 秒)  
気圧差インジケータ表示用計測 :  
12 回/日  
登山 1 回 (高度計測 30 回)/月

- ライトを頻繁に使用すると、電池の持続時間が短くなります。

# ご使用上の注意

## ■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ポンペ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

## ■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。  
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

## ■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

## ■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。  
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

## ■磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 時計動作に影響を与えることはありませんが、製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。  
なお、極度に強い磁気（医療機器など）は、誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

### ■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

### ■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

### ■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

### ■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

## ■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。  
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

## ■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも濡れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

## ■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

## ■データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

## ■センサーについて

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようにご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

# お手入れについて

## ■お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

## ■お手入れを怠ると

### 〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

### 〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気が多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

### 〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

# 本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

# 金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。

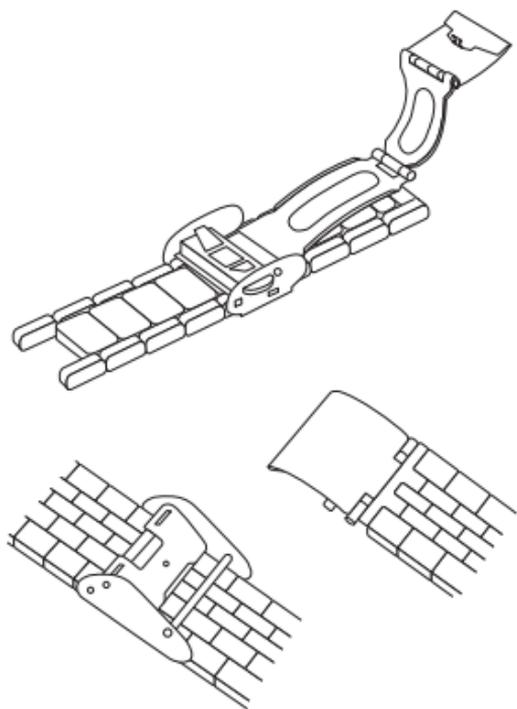
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

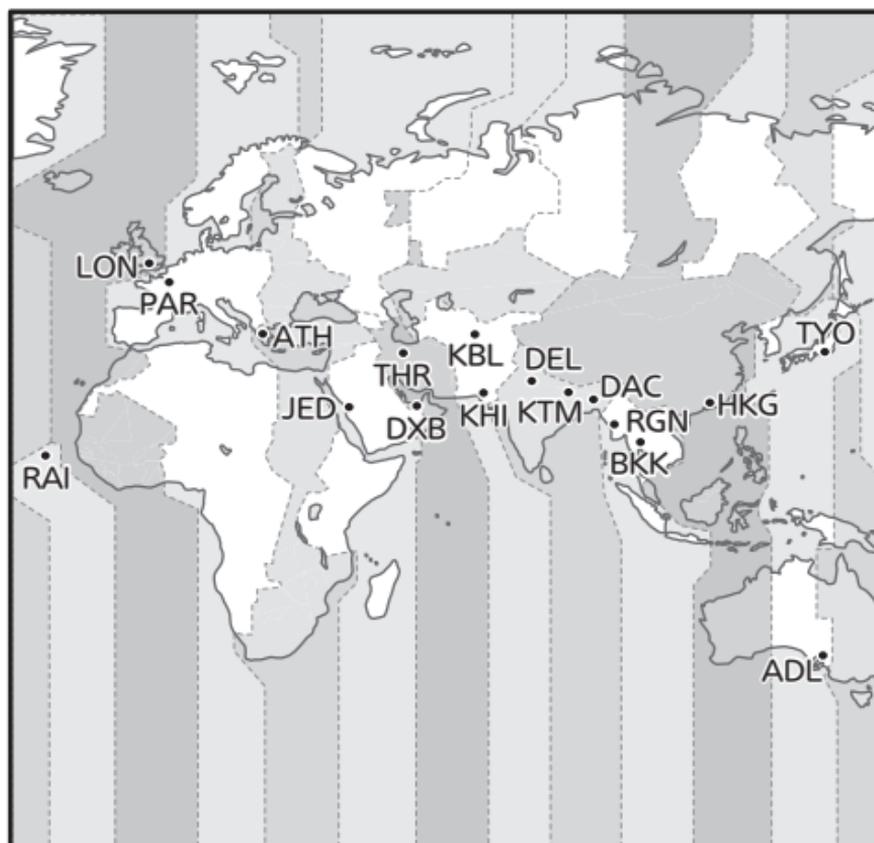
※中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)



# UTC(協定世界時)とタイムゾーン

地図から目的地のタイムゾーンをご確認ください。

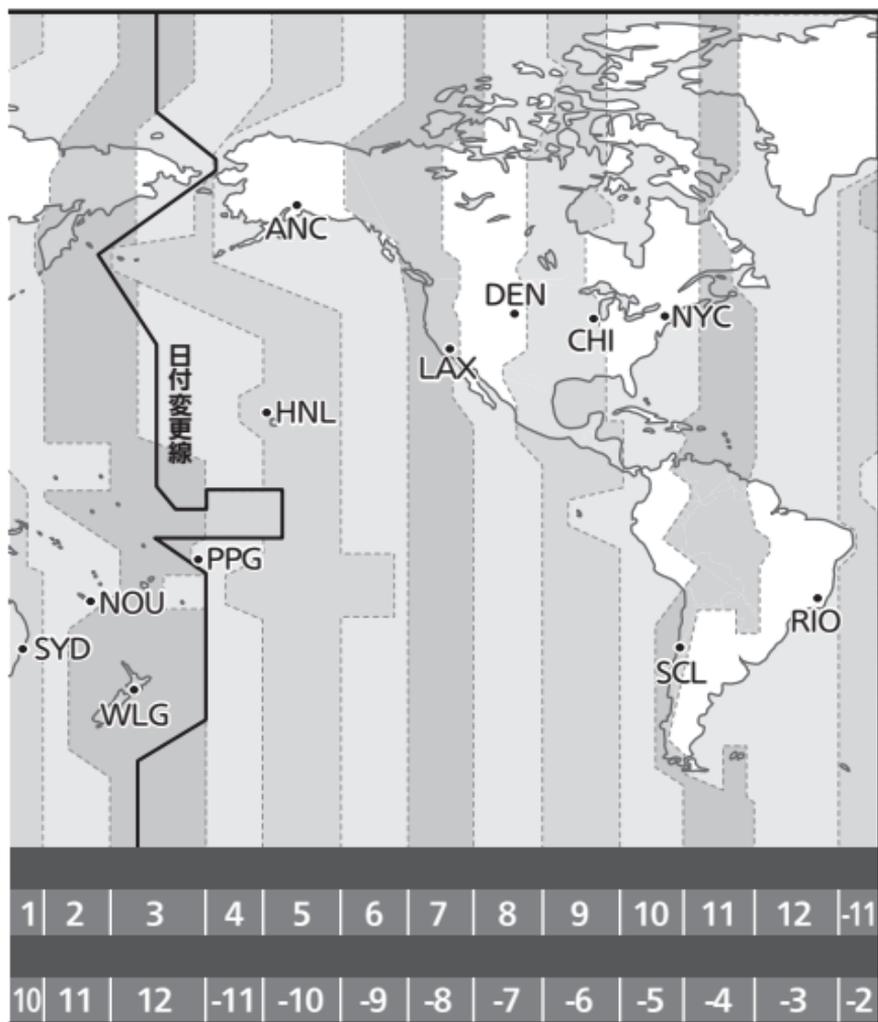


JST(日本標準時)との時差

-11	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	---

UTC(協定世界時)との時差

-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
----	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----



# 都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC		0	協定世界時
LONDON	LON	0	ロンドン
PARIS	PAR	+ 1	パリ
ATHENS	ATH	+ 2	アテネ
JEDDAH	JED	+ 3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+ 3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+ 4	ドバイ
KABUL	KBL	+ 4.5	カブール
KARACHI	KHI	+ 5	カラチ
DELHI	DEL	+ 5.5	デリー
KATHMANDU	KTM	+ 5.75	カトマンズ
DHAKA	DAC	+ 6	ダッカ
YANGON	RGN	+ 6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+ 7	バンコク
HONG KONG	HKG	+ 8	香港
TOKYO	TYO	+ 9	東京
ADELAIDE	ADL	+ 9.5	アデレード
SYDNEY	SYD	+ 10	シドニー
NOUMEA	NOU	+ 11	ヌーメア
WELLINGTON	WLG	+ 12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	- 11	パゴパゴ

コード		タイムゾーン	都市名
HONOLULU	HNL	- 10	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	- 9	アンカレジ
LOS ANGELES	LAX	- 8	ロサンゼルス
DENVER	DEN	- 7	デンバー
CHICAGO	CHI	- 6	シカゴ
NEW YORK	NYC	- 5	ニューヨーク
SANTIAGO	SCL	- 4	サンティアゴ
RIO DE JANEIRO	RIO	- 3	リオデジャネイロ
PRAIA	RAI	- 1	プライア

### 参考

- この表は 2010 年 12 月現在作成のものです。
- 設定する都市コードがわからないときは、使用場所のタイムゾーンを確認し、タイムゾーンが一致する都市コードを選択してください。
- この表のタイムゾーンは、協定世界時 (UTC) を基準としたものです。